

A・ドラキュリア B・ヴァンプ

## 第1章

【効果音：コウモリの羽の音・鳴き声など】 ※雰囲気のためだけになくても可

【効果音：ドア開閉】

【A・B：位置：正面・中距離】

A「あら？……ふふ、私たちのお部屋にお客様なんて。一体どなたかしら」

B「女の子の部屋にノックもなしに入ってくるなんて。人間ってマナーがなってないんだねえ」

A「それに……もしかして、あなた一人で来たの？ あは、それはそれは。ずいぶんと舐められたものねえ。しかも、まだお若いのねえ、ボ・ウ・ヤ。ふふ……」

B「キミ、私たちを討伐しに来たんでしょ？ はあ……。キミが人間の中でどれだけ強いのか知らないけど……」

A「私たちにとっては、大した違いはないわ。ほうら……」

【効果音：指パツチン】

【効果音：魔法的な音・1】

B「あはっ。どう？ 肉体操作で強制屈服。ひざまずいちゃって、動けなくい」

A「やつ……それじゃあ一応、あなたが誰で、何をしに来たか……確かめさせてもらうわね。」

【効果音：魔法的な音・2】

ん〜……？ へえ、なるほど……。ふふ……。

やっぱりあなた、人間たちの中では相当の手練れみたいね。数々の魔物を倒してきた熟練の冒険者……。

まあでも、私たちに叶わないって意味じゃ、有象無象の人間たちと変わりはないわね。

……ある一点だけを除いては。ふふ……」

B「あは。なにに、ドラキュリア様？ 何が見えたの？」

A「すぐにわかるわ。さあ、ボウヤ。いつまでもそのままじゃ辛いでしょ？ そこにある椅子、座ってもいいわよ？」

B「あは。身体が勝手に動いちゃうね。はいはい、この椅子にどうぞ。お座りくださ

あゝ」

A「ふふふ……。さ、ヴァンプ。この子……味見しちゃっていいわよ」

B「え？ いいの？ あはっ、やったあ。人間食べるの、久しぶり」

A「全部はダメよ？ あくまでも味見。私の分も残しておくこと」

B「わかってるよ」。

【B：移動：正面・近距離】

さあ、人間く〜ん。キミのこと、美味しく食べてあげる〜。

あ〜……んっ。

(ディープキス 5秒)

っはあ……。んふふ……。

(ディープキス 5秒)」

※台詞中以外もキス音継続

A「ふふ……本当に食べられると思った？ 私たち、そんな野蛮なことはいらないわよ。

味見するのは、あなたの……おチンポのお味」

B「ふっはあ……。っ。邪魔な鎧と服はあ、えいっ。

【効果音：服破く音】

あっちにぼ〜い。……。あっはあっ。すっごくおいしい。キミのおチンポ、すっごくおっき〜いっ。

そっか。ドラキュリア様がさっき見たのってこれなんだ？」

A「ええ、そう。人間にしてはかなりのモノを持つてるでしょ？ よかったわねえ、ボウヤ。

それがなかったら、今頃、死んじやってたかも」

B「んふふ……。さっきのキスで、サキユバスの唾液いっぱい飲んで、媚薬効果でおチンポバツキバキ〜。

これならすぐにおチンポ使えるよね〜。んふふ。

ほうら、キミのお膝の上に乗っちゃって〜。ぎゅ〜って抱き着いちゃったら〜。サキユバスおまんことおチンポが、こおんなに密着〜。

というわけでえ……。人間チンポ、いただきまあす。

【効果音：徐々に挿入】

んっお……。っ。おおっおお……。っ。んふっ、おチンポっ、ずぶずぶ……。っ。おおっ、んうっおお……。っ。入るっ、入る、っおおお、ほっおおお……。っ。

【効果音…挿入完了】

はっああああ……っ。おチンポ、おつきい……っ。っああ……っ。おまんこぐいぐい来る  
う……っ。いいっ、感じい……っ。  
あっはあ……っ。

【効果音…セックス 開始】

んんっ……んお、おん、んっ、お、おお、ううっ、うん、おん、おんっ、お、おっ、うん、  
んっ、んっく、んっふ……。

おおお……っ。形も硬さもっ、なかなかだねえ……っ。っおお……っ。  
久々に、楽しめそう……っ」

※台詞中以外もオホ声継続

△「あらあら、ヴァンプったら……。そんなに激しくサキュバスおまんこ逆レイプしちゃつ  
たら、人間なんて簡単にぶっ壊れちゃうわよ？

せっかくのおもちや……大事にしないと」

B「んっおお……っ。はっあ……っ。あはっ、大丈夫……っ。ちゃあんとっ、考えてるから  
あ……っ。んっううう……っ。

んおっ、おん、んくっ、んうっ……。んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお、んおっ、  
おっ、おっ、おっ、おっ……。

んっ、おん、んお、おっく、んっく、いや、いお、ん、んうっ、んお、んおう……。はっ  
ああ……っ。ふっうううう……っ。んっ、おっ、おお……っ。

んひひ……。おチンポ気持ちいいでしょ？ 今まで味わったことない快感でしょう？  
普通だったらとくにびゅっびゅしちやいそうなのに、ぜーんぜんおチンポイケないの、  
不思議でしょう？ あっはあ……っ。

そうやって、気持ち良すぎて苦しそなお顔お……。っ。いっぱい見せてよねえ……。っ。  
んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう、おう、おん、おんっ、んおっ、ん  
おうっ……。ふー……。っ、ふー……。っ、んふふ、んふふ……。っ。

ああ、その顔お……。っ。いい……。っ。すっごくいいよお……。っ。  
もっともっと、楽しませてあげたくなっちゃあう……。っ。

ほうら……。っ。キミの気持ち良くて苦しんでるお顔お……。っ、サキュバス爆乳おっぱい  
で、ばふばふしてあげるう……。っ。

んっはあ……。っ。ほらっ、ほらっ、おっぱいの谷間のっ、濃厚メス臭っ、いっぱい嗅いじ  
やえ……。っ。

サキユバス媚薬フェロモンたつぷりの匂いつ、いっぱいくんくんしろ……っ。

うつく、うぐ、うお、うおん、おん、ほおっ、おほっ、おほおっ……」

A「ふふ……楽しそうねえ、ヴァンプったら。じゃあ……そろそろ私も、参加させてもらっちゃおうかしら

### 【移動…背面・近距離】

ヴァンプが正面にることだし、私はボウヤの背中側から……はあい、おっぱい、ぱっふん。ふふ……。

私とヴァンプ、両方のサキユバスフェロモンおっぱいに包まれて……弱あい脳みそ、ところかしちゃいなさい。ふふふ……」

B「うおおおお……っ。おチンポっ、おっきくなってきたあ……っ。んっいいい……っ。

あはっ、顔面おっぱいに包まれてっ、おチンポ興奮してきちゃったねえ……っ。んっうう……っ。

ほっおっ、ほおっおおっ、いいよお……っ。おまんこ、かなりいい感じい……っ。んっうう……っ。

でも、もっともっと出来るよねえ……っ。キミのおチンポのポテンシャル、こんなものじゃあないよねえ……っ。

ねっ、ドラキュリア様っ、あれやろ、あれ……っ」

A「あれっ……ああ、あれね。ええ、いいわよ。じゃあ……」

### 【A：移動…右耳・近距離】

### 【B：移動…左耳・近距離】

A「私は……っ」

B「私は……っ……っ」

### ※二人同時

A【囁き】お耳、ぺろぺろしてあげる……」

B【囁き】お耳、ぺろぺろしてあげるっ……っ」

### ※二人同時

A「(耳舐め 10秒)」

B「(耳舐め 10秒)」

※二人同時

A「あは……。どう？ 耳穴、サキユバスの長い舌で、ぺろぺろほじほじされるのは……。気持ちいいでしょう？ ふふ……」

B「おっ、おおっ、おっ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおっ。うっおお、ほっおお、んおっおお……っ」

※二人同時

A「(耳舐め 5秒)」

B「んひひ……。っ。サキユバスの、媚薬唾液……。っ。耳穴からも侵入しちゃって、んっうお……。っ。おチンポまたガチガチ勃起い……。っ。っおお……。っ、いい感じい……。っ」

※二人同時

A「(耳舐め 10秒)」

B「(耳舐め 10秒)」

※二人同時

A「お顔、柔らかか乳肉で挟み込まれて、えっぐいメス臭に包まれながら、さらに耳舐め……。むにゅむにゅであったかあいおっぱい、顔中で感じながら、おまんこぬちゅぬちゅ……。こんなに気持ちいいセックス……。味わったこと、ないでしょう……。？」

B「おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ……。っ」

ん、っく、ん、んふう、んお、おう……。んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ……。」

※二人同時

A「(耳舐め 5秒)」

B「っはぁ……。っ。おチンポ限界なの、バレバレだよ……。っ？ デッカイだけでよわよわの、人間雑魚チンポ……。っ。いつでもびゅっびゅしちやっついていいからねえ……。っ」

※二人同時

A「おチンポ全部に吸い付いて離れない、極上おまんこ逆レイプでえ……。っ。とろっ。とろの人間ザー汁、お漏らししちゃいましょうねえ……。っ」

B「(耳舐め 5秒)」

※二人同時

A「(耳舐め 5秒)」

B「私のおまんこに……。っ。幸せザーメンお漏らし射精……。っ。びゆるびゆる出しちゃえ

え…………っ

【囁き っっまで】

【効果音…セックス・激しく】

※二人同時

A「〔耳舐め 5秒〕

B「んお、んう、おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふおっ……」

※二人同時

A「出せ、出せ、精液出せ……。人間精液どっぴゅり吐き出せ……。気持ち良おく、敗北お射精……しちやいなさあい……」

B「〔耳舐め 5秒〕

※二人同時

A「〔耳舐め 5秒〕

B「っおおっ、おとおお……。イグイグっ、おまんこイグっ、おまんこイググ……。っ。おとおお……。っ。来るっ、来るっ、来るっ、来るるうう……。っ」

【効果音…射精】【効果音…セックス 停止】

※二人同時

A「びゅっ、びゅっ、びゅっ、びゅー……。どっびゅー……。びゅるる……。びゅっぶ、びゅっぶ、びゅっぶ、びゅー……」

B「〔絶頂〕おっおおおっおおお……。んうおおおっ、ほおおおおっ、おとおおおおっおお……。っ」

※二人同時

A「〔耳舐め 10秒〕

B「〔耳舐め 10秒〕

A「っはぁ……。ぶぶぶぶ……」

B「っはぁ、っはぁ、っはっぁ、はぁ……。んぐ……。っ。ザーメン、おいっし……。っ。これ、かなりいい味だぁ……。っ。大当たりい……。っ」

A「ぶぶ、そうみたいね。どくどく、まだ出てる……。たっぷりびゅっびゅ、気持ちいいわねえ……。ぶぶ……」

【囁き こゝまで】

B 「B・移動…正面・近距離」

んふふ……。

(ディープキス 5秒)

つはあ……。サキュバスおまんこ、そんなによかった？ あは……」

A 【A：移動…正面・近距離】

ヴァンプ。私も……」

B 「あはっ。うん、ドラキュリア様もいっしょにいく」

A 「ダブルでちゅー……してあげる」

※二人同時

A 「(ディープキス 10秒)」

B 「(ディープキス 10秒)」

※二人同時

A 「んふふ、んふふふふ……」

B 「んふふふ……。んふふふふ……っ」

※二人同時

A 「(ディープキス 10秒)」

B 「(ディープキス 10秒)」

(フェードアウト)

## 第2章

【A・B：位置…正面・近距離】

(フェードイン)

※二人同時

A 「(ディープキス 10秒)」

B 「(ディープキス 10秒)」

A 「んっっ、はあ……。んふふ……」

B 「あは……。いっばいべろちゅー、気持ちいいねえ」

A「ねっとり濃厚ディープリキスで、おチンポあつという間に回復完了……。まだまだ楽しませてもらうわよ？」

ほら……立ちなさい」

B「あは。お人形さんみたいに言うこと聞いちゃって。面白い」

A「お腹についちやうぐらいにビンッビンの勃起チンポ……。媚薬唾液で異常に精力が増して、破裂しちやいそうねえ」

B「そんなに勃起すると、おチンポ痛そうだねえ。だったらあ……柔らかあい乳肉で、むっちりよしよししてあげよっか？」

【A・B：移動：正面・下（フェラ用の距離）】

A「おチンポ……ダブルサキュバスの、たわわな四つの爆乳で……挟んであげる」

B「ほうら……。ぱっふっん」

A「あは……。っ。どう？ ボウヤのおチンポ、みっちり包まれて、ほとんど隠れちゃったわ」

B「中でビクビクしちやってる。ホント雑魚チンポだね」

A「さあ、パイズリ始めるわよ……。敏感チンポ、私たちのおっぱいで感じまくっちゃいなやろ」

【効果音：パイズリ 開始】

B「にゅっち、にゅっち、にゅっち……。んふふ……っ」

A「ごびりついたままのヴァンプの愛液と、ボウヤのザーメン、谷間の中でこすられて、ぐっちゅぐちゅ……」

B「やらしい音、いっぱい鳴ってえ、えっちなねえ」

A「それにい……（鼻呼吸）すー……。っ、んっお……。っ。ドスケベチンポ臭、いっぱい立ち上ってえ……。っ。くっさあ……。っ」

B「んっっっお……。っ、ホントだあ……。っ。あー……。っ、いい匂い……。っ。くっさあ……。っ」

※二人同時

A「んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひお、っおお、うん、んおう、んっく、くお……。っ」

B「ほおっ、んんお、っくお……。っ、んうっ。おおん、おんっ、おっ、んお、おお……。っ」

A「ふっふっうう……。っ。この匂い嗅いでるだけで、身体がぞくぞくしてきちゃうわ……。っ」

B「人間チンポからぶんぶん匂う、オス臭はあ……。っ、私たちサキュバスの大好物だからねえ……。っ。いっぱいくんくんしちゃあう……。っ」



※二人同時

A「ひい、おほお、ううおっ……。おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお……。おお、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう……」

B「んお、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、んんお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん……っ」

A「っはあ……。っ。ふふ……。谷間から亀頭がこんにちはして……。かわいいわねえ。

ああ……。我慢汁、とぶとぶ溢れて……。これ、いただきちやおうかしら。んうあ……。っ

(フェラ・亀頭吸い 5秒)

っはあ……。っ。ふふふ……。っ」

※台詞中以外もフェラ音継続

B「っあゝっ。ドラキュリア様、ずっるゝい。私も私もゝ」

A「っはあ……。ふふ、もちろんいいわよ。いっしよにぶっくり亀さん、ぺろぺろしちゃいましようね」

B「わあい。いただきます」

※二人同時

A「(フェラ 10秒)」

B「(フェラ 10秒)」

B「んほっお……。っ、我慢汁、おいっし……。っ」

A「っぶうう……。っ。おチンポどんどん、私たち好みの味になっていくわ……。っ。

ボウヤの身体、私たちの力で、どんどんドスケベに作り変えられちゃってる……。っ。ふふ

ふ……。っ」

B「っはあ……。っ。うん、そうだよ……。っ。身体、変わってっちゃってるの。私たちが喜ぶ、便利なドスケベおもちやにね。んふふふ……。っ。

はー……。っ、匂い、さらにヤバく……。っ、パイズリッしで匂い立たせて嗅ぐだけで、おっほ……。っ。おまんこ、しびれるう……。っ」

※二人同時

A「(フェラ 5秒)」

B「んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ、ちゃんっ、おお、うおんっ」

※二人同時

A「おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお……お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう……っ」

B「**フェラ 5秒**」

A「ふー……っ、ふー……っ、ほっお……っ。あああ……っ。おチンポの味、たまらないわあ……っ。

本気で味わってみたいくなってきちゃった……。

【効果音…パイズリ 停止】

ねえ、ヴァンプ？ ここはちょっと譲ってくれない？」

B「ええ〜。……まあ、いつか。先におチンポ味見させてくれたし。

はいどうぞ、ドラキュリア様。おチンポいっぱい、ぱっくんしちゃってね」

A「ふふ、ありがとう。……じゃあ、行くわよ。パイズリもやめて……おチンポの根元まで、強烈フェラチオ……。

キンタマから直に、ザー汁吸い尽くしてあげちゃうわ。

んう〜……ああ〜……っ。

(フェラ・ディープ 5秒)

っはあ……っ。んふふ……っ」

※セリフ中以外もフェラ音継続

B「あはっ、ドラキュリア様お得意の、喉奥フェラ〜。無理矢理おチンポ飲み込んで、喉できゅううきゅう締め付けて……。

自分からイラマチオされにいくみたいで、えっぐいでしょ〜？」

A「**フェラ 5秒**」

っふっうう……っ。あっはあ……っ。我慢汁、お漏らしみたいに出てくる……っ、ああ、美味しい……っ。

(フェラ 5秒)」

B「**んふ……**。じゃ、私もお手伝いしようっ」と

【移動…背面・下】

あは……っ。キミのお尻……ぺろぺろ舐めたげる。んっうう……っ」

※二人同時

A「フェラ 5秒」

B「(アナル舐め 5秒)」

※台詞中以外も舐め音継続

A「んっおっ、ほっお……っ。おチンポ、喉奥でびっくうってえ……っ。んふ、お尻、感じちゃうのね」

B「っはぁ……っ。キミのアナル、なかなか美味しいよ。いっぱい味わい尽くしちゃうよぉ……っ」

※二人同時

A「フェラ 5秒」

B「(アナル舐め 5秒)」

A「啜えたまま鼻呼吸）んっふっ、んっふっ、ふううっ、んっうううう……っ」

※二人同時

A「フェラ 10秒」

B「(アナル舐め 10秒)」

B「っはぁ……っ。お尻の穴もくっさくってさいっこお……っ。

直腸から媚薬唾液も染みこんでえ……っ、おチンポもどんっどんガツガチだよぉ……っ」

※二人同時

A「フェラ 5秒」

B「(アナル舐め 5秒)」

A「んっお、ふうう……っ。ほら、出しちゃいなさい……っ。キンタマザーメン……っ、私の喉フェラで、射精しなさい……っ」

B「っはぁ……っ。出せ出せ……っ。またお漏らししちゃえ……っ。敗北精子、お口にびゅるびゅる、吐き出しちゃえ……っ」

※二人同時

A「フェラ 5秒」

B「(アナル舐め 5秒)」

※二人同時

A「(啞えたまま話す) 出せ、出せ、出せ、出せえ……っ」

B「(舐めながら話す) イケ、イケ、イケ、イケえ……っ」

※二人同時

A「フェラ 10秒」

B「(アナル舐め 10秒)」

【効果音…射精】

※二人同時

A「(口内射精) んっおおおお……っ。おおっ、んっぐおっ、ほおおっ、おっおおおお  
おお……っ。

んうっ、っぶうっ、んうううっ、おおっおおおお……っ」

B「(アナル舐め 5秒)」

※二人同時

A「(啞えたまま鼻呼吸) んっうううっ、ふうううう……っ。んふっ、ふっぐっ、んっううっ、  
ぶうううううう……っ」

B「あつはあ……っ。またいっぱい出たねえ……っ。ぴゅっぴゅするたびケツ穴きゅうきゅ  
うしちやってたから、こっちからでもわかつちやったく」

A「(口離す) んっぐえ……っ、んっう、ほっおお……っ。ふっ、ふっ、ふっうう……っ。  
(飲む) んっぐ……っ。んぎゅっ、んぎゅっ、んぎゅっ、んぎゅ……っ。ぐっ、ん  
っうんっ、んっぐうっ、んううううう……っ。ぎゅきゅん……っ。

ぶっはあ……っ。はー……っ、はー……っ、はー……っ、ぶううううう……っ」

B「あは……っ。ザーメン、ぜえんぶごくんしてもらえてよかったねえ。ね、どうだった、  
ドラキュリア様？ 人間精子、おいし？」

A「あは……。ええ、とおっても。ふるっふるの触感と、つるつとした喉越し……っ。味も  
匂いも濃厚で、っほお……っ。かなりのものね、これは……っ」

B「あは。だって。精子の質褒めてもらえてよかったねえ。

だって……悪かったら、その場で処刑だったもん。おもちゃの価値もない、ってね。あは」  
A「ふふ……だけど、あなたのは本当にすばらしいわ。しばらくは生かしておいてあげる。  
でも……こうなると、おチンポ残り汁も飲んであげなくなっちゃうわね……。  
お掃除、してあげようかしら」

B「あは。ドラキュリア様のお掃除フェラか。んふふ……。じゃあ……。

【移動…左耳・近距離】

【囁き】

キミがおチンポきれいきれいにされちやうところ……私はここで、見てあげる」

A「ほうら……行くわよ……。尿道吸い上げ……お掃除バキューム……っ。んっあ……っ。

(フェラ・バキューム 5秒)

んっへあ……っ。んふふふ……っ」

※フェラ音継続

B「あは……っ。お掃除だから優しくゆっくりなんて思った？　ざくんねくん。サキュバスがあ、そんな生やさしいことするわけないでしょ？

人間だったら本気レベルのバキュームフェラが、私たちのお掃除、なんだよ？　んふふ……」

A「ぶっはあ……っ。あは、残り汁、どんどん出てくる……っ。まだまだ吸い尽くしてあげるわ……っ。

(フェラ 5秒)」

B「ん、よしよし、よしよし。大丈夫だよ」

。おチンポ苦しくないよう。いっぱいちゅっちゅされちやおうねえ。

私がいっぱい、甘々してあげるからね。おチンポ大丈夫だよ。んうあ……。

(耳舐め 5秒)」

※二人同時

A「(フェラ 10秒)」

B「(耳舐め 10秒)」

B「【移動…右耳・近距離】

私たちがおチンポいじめるのはね？　そのおチンポが大大だあい好きってことなんだよ？

だからあ、おチンポ苦しくつてもだいじょうぶ。私たち、キミのことがだい好きってことだからねえ」

※二人同時

A「(フェラ 10秒)」

B「(耳舐め 0秒)」

A「っはっああ……っ、残りザーメン、少なくなってきたわね……っ。なら、最後の一滴までえ……っ。

(フェラ 5秒)」

B【移動…左耳・近距離】

よしよし、よしよし……。おチンポじよーず、おチンポじよーず……。もうちよつとだけ我慢しようねえ……」

※二人同時

A「フェラ 10秒」

B「(耳舐め 10秒)」

B【移動…右耳・近距離】

これが最後だよお。精子も我慢汁も、ぜんぶ吸い尽くしたらおしまいだからねえ。いっぱいぎゅっしてあげるから。もうちよつとがんばろうねえ」

※二人同時

A「フェラ 10秒」

B「(耳舐め 10秒)」

A「ふっはあ……っ。はっ、はっ、はっ、はー……っ。うっふう……っ。

んふふふ……っ。これでおチンポ、ぴっかぴかよ。外はもちろん、中の方まで、ね。ふふふ……」

B「おチンポがんばったね。えらいねえ。よかったねえ。よしよし、よしよし。ふふふ……。

【囁き 5秒まで】

まあ……がんばったところで、無駄だったんだけど。

だって……次もまた、いっっぱい搾ってあげちゃうもん。おチンポ休んでなんていられないからね」

A「ふふ……さあ、次は私のおまんこ、満足させてもらうわよ。

優秀おチンポ……しっかり勃起させてなさいね。ふふふふ……」

【A・B：位置：正面・中距離】

A「そうれ」

【効果音：ベッド軋む音】

B「あははっ。なっさけなくい。魔法で投げ飛ばされちゃった」

A「そのままベッドで横になってなさいね。今から私が、そのおチンポ……思いっきり犯してあげるから」

【効果音：近づく足音】

【効果音：ベッド軋む音】

A「ふふ……。サキユバスにおチンポ搾り取られる快樂と恐怖……。その身体にしっかり刻み込んであげる……。

【効果音：水音】

っお、ふう……。っ。おチンポ、いい硬さあ……。っ。

このままあ……。騎乗位逆レイプで……。っ。人間チンポ……。っ、おまんこに挿入……。っ。

【効果音：徐々に挿入】

んっううう……。っ。んっお、ほっおお……。っ。んっ、ふっ、ふっうう……。っ。おっおおっ  
おお……。っ。

【効果音：挿入完了】

っはああ……。っ。ふう、ふう、んっふう、ほお……。っ。

ふふふ……。っ。

【効果音：セックス 開始】

おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふおっ……。んお、んふう、うう、  
うお、おう、んう、ん、んっく、くう……。んんんう……。」

※オホ声継続

B【移動…左耳・近距離】

【囁き】

あはっ。どう？ ドラキュリア様のおまんこ。ぱちゅぱちゅぱちゅ、お尻叩きつけての杭打ちピストン。気持ちいいい？」

A「んっお、ほっおお……っ。ふふ、ヴァンプの言うとおり……っ。これはなかなか、悪くない……っ。おおお……っ」

B「キミみたいな人間が、サキュバスおまんこ味比べできるなんて、めったにないんだよ？喜んでくれていいんだよ？

そんな苦しそうな顔、してないでさあ……っ。んっう……っ。

(耳舐め 5秒)」

※耳舐め継続

A「一方的にっ、おチンポ逆レイプ……っ。どちゅどちゅ、にちゅにちゅ……っ。おまんこずぼずぼ、めいっばい犯されても……っ、人間にとっては極上の快樂でしょう……？もっと、楽しみなさい……っ。んうっおお……っ」

B【移動…右耳・近距離】

おまんこ気持ちいいでしょお……？ いいんだよお、好きなだけ、びゅっびゅしちやっても……。

私たちとしての限り、精液はほとんど無限に出せちゃうからねえ……。

サキュバスフェロモンでキンタマ元氣元氣になっちゃってえ、精子作られ続けてるんだから……。

爆乳サキュバスの氣ん持ちいいザーメンコキ捨て穴に、たっぷり出しちゃえ……

(耳舐め 5秒)」

A「んおっ、ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ、おお、おお、おん、んおん……っ」

B【移動…左耳・近距離】

まあでも？ いくらサキュバスおまんこに射精しても、妊娠なんて絶対にしないけどね。気持ちいいだけの中出し。完全無駄撃ち敗北射精。そして……ザーメン自体は無限でも、キミの寿命はどんどん削られちゃう……。

お漏らしする度命が縮むの。残念だね……っ。

(耳舐め 5秒)」

A「ふっう……っ。んふふ……っ、死ぬのは怖い？ つお、ふう……っ。でも、その前にこんな、極上の快樂を味わえてるからいいじゃない。



こうして、おまんこ締めて……っ。おっ、っおお……っ。おまんこっ、どちゅどちゅう……っ。おっおおお……っ。

キツキツまんこでっ、おチンポ搾られる快感は……っ。何十年と生きてても、絶対に味わえない……っ。んっううう……っ。

こんな快感味わえるなら……っ。ちよっとぐらい早死にしても、問題ないと思わない？んふふ……」

**B** 【移動…右耳・近距離】

それに、妊娠しない中出してことはあ、いくらでも無責任になれちゃうってことだよねえ……。

何発撃つてもただ気持ちいいだけ……。なあんにも考えずに、濃厚ザーメン何度もびゅびゅぶ吐き出すだけでいい……。

それって、すごいことだよねえ……？ んふふ……。

(耳舐め 5秒)

A「だから、あなたも……っ。んっう、ほっおお……っ。そろそろ諦めちゃいなさい……っ。

あなたは一生、私たちのおチンポ奴隷として過ごし続けるの……っ。

私たちのおまんこ気持ち良くするためだけのっ、生デイルド……っ。

私たちにおチンポご奉仕し続けるだけの生き物に、なりなさい……っ。

【効果音…セックス・激しく】

ん、んお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ、お、ん。ん、んう、んっ……。やん、おんっ、いや、おん、おんっ、おう、うんっ、お、んっ」

**B** 【移動…左耳・近距離】

あっはあ……っ。本気ピストン始まつちやったあ。ひだひだがうねっっておチンポに絡みついて、締め付けて、おチンポ搾りしちやってるう……っ。

あ、だめだめ、負けちゃう負けちゃう。こんなの勝てない。サキュバスおまんこ強すぎ。

また漏れちゃう。びゅっびゅしちゃう。男のくせにみっともなく喘ぎまくって、ザーメンどびゅっちゃう。

一回も反撃できずにお漏らししちゃう。屈服お射精、びゆるびゆるびゅ。

(耳舐め 5秒)

A「んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ。ん、おん、ほお、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おおんっおおお……っ。チンポっ、膨らんで……っ。おっおおお……っ。

さあつ、さあ……っ。イキなさい……っ。このままっ、私の杭打ち騎乗位で果てなさい……っ。

デカケツ叩きつけてっ、おチンポの先っぱから根元までっ、みちみち肉穴でずっぱり犯されてえ……っ。

作りたての新鮮チンポ汁っ、吐き出さない……っ。おお、おん、うん、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ」

**B** 【移動…右耳・近距離】

ほうら、出しちゃえ出しちゃえ。射精中もおチンポにからみついて、優しく精液搾り上げてくれる搾精おまんこに、びゅっぶんしちゃえ……っ。

余計なことはぜくんぶ忘れちゃお？ おチンポ気持ち良くなることだけ考えちゃお？

最っ高のおチンポしごき穴で、最っ高のオス汁お漏らし……っ。

力抜いて、精液吐き出すことだけ考えて、とふとふしちやおうねえ……っ。

はあい、はあい……っ。どうぞどうぞ、どうぞ、どうぞお……っ。

(耳舐め 5秒)」

A「ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん……。

おっおおおお……っ。イッグ、イッグ、んっおおおっ、イグイグ……っ。おおおおおお……っ。チンポ搾りアクメで……っ、おチンポに、トドメえ……っ」

**B** 【移動…左耳・近距離】

雑魚チンポ……イ・ケ……っ」

【効果音…射精】 【効果音…セックス 停止】

※二人同時

A「(絶頂)んっおおおおおお……っ。ほおおっ、んっおおっ、おっおおおおお……っ。んっうっおおおお……っ」

B「ぶっ……っ、ぶっ……っ、ぶぶぶぶぶっ、びゅるるる……っ。ぶっびゅ、ぶっびゅっ、ぶっびゅっびゅっびゅ……っ」

※二人同時

A「ほっおおお……っ。んっうっう……っ、出てる、出てる……っ。精子詰まったぶるぶる人間ザーメン……っ。凝り固まったゼリーみたいな子種汁……っ。子宮に、びゅっぶう……っ」

**B** 「(耳舐め 5秒)」

**B** 【移動…右耳・近距離】

いっぱい出していいよお……。たっぷり出してえ……。最後の最後までえ、おチンポ気持ち良くなっちゃおうねえ……。

(耳舐め 5秒)

A「ふー……っ、ふー……っ、ふー……っ、ふー……っ。おおおおお……」

B「っはあ……。んふふふ……。お射精、気持ち良かったねえ……。ふふふ……」

A「はあ、ふう……。ふふ……。ん……っ。

【効果音…ペニス引き抜く】

おおっふ……。ふっう、はあ……。っ。はあ、はあ……。

最後にまた……。おチンポ残り汁、搾ってあげる……。

【移動…正面・下（フェラ用の距離）】

お掃除バキューム……。もう一度お……。

(フェラ 5秒)

※フェラ音継続

B「【移動…正面・近距離】

私もお……。いっぱいべろちゅー、するねえ……。んうあ……。

(ディープキス 5秒)

※二人同時

A「(フェラ 10秒)」

B「(ディープキス 10秒)」

A「っはあ……。っ。残り汁、美味しいわ……。ボウヤの精液なら、いくらでも飲みちゃうかも……」

B「(キスしたまま話す) 私もお……。んっう、ちゅう……。キミの精液、だあい好きだよお……」

※二人同時

A「(フェラ 10秒)」

B「(ディープキス 10秒)」

A「っはあ……。んっう、ほう……。ふふふふ……。いっしゅっわん」

## 第4章

【B：位置：正面・近距離】

B「あは……。お顔、とろけちゃってるね。ん〜……っ、その顔見てたらまたおまんこ熱くなってるんじゃないかな。サキュバスおまんこ、いっぱい使わせてあげる。んふふふふ……」

B「ほら、どうぞ。おまんこにおチンポ、入れちゃって。

そうそう、今度はそっちから。イヤだ、なんて言わないよね？

もうキミは、私たちのおまんこの味覚えちゃったんだから。

もしも今、ここから逃げ出せたとしても、絶対キミはここに帰ってくる。

私たちが討伐しにじゃなくなったら、私たちに、気持ち良くしてもらいたくってね」

【A：位置：背面・近距離】

A「ええ、そう……。もうあなたは逃げられない……。一生忘れられない恐怖にも似た、快樂によって……。ね。

それならもう、諦めちゃいましょう？ 私たちとここで、一生おまんこし続けられればいいじゃない。

さあ……。ヴァンプのおまんこに、おチンポ入れなさい。そして目一杯、ヴァンプのこと……喜ばせなさい」

【効果音：水音】

B「んっお……。あはっ、おチンポ、当たって……。っ。

【効果音：挿入】

おおっおおお……。んううう……。ずっぶりきたあ……。っ。あっはあ……。っ。  
ほら、早くおチンポして……。っ。ずばずばばんばん、正常位セックスで、おまんこ感じさせてえ……。っ。

【効果音：セックス 開始】

んっうおっ、おっふ、つくうう、んうああ……っ。んいつ、んっひい……っ。へあっ、ふあっ、あっふ、んういい……っ。

おおおっ、っんんおっ、おおおおっ、おうっ、んっおっ、おんんっおおおっ、っんん。

んっいいいい……っ。いいっ、いいい……っ。そっちからしてもらうのもっ、気持ちいい……っ。っおおお……っ。

んっ、んっうっ、おっ、っんっ、おっ、おおっ、おおおっ、っうっ、んんっ、っおおっんっ、んっ、おっ、おおっ、っんっ、んうおお……っ。

はっ、はっ、はっ、んひひ……っ。んっう……っ。

っはあ……っ。いつばいぎゅっしてあげちゃう……っ。両手両足、全身でえ……っ。いつばいむぎゅっしてあげるう……っ。

んうううう……っ。おおおお……っ。あはっ、おチンポっ、深あい……っ。おっおおおおお……っ。

んっ、っうっ、おっ、おおおっんんんっおおおっ、っうっ、おおおっうっ、んんおおおっんんっ、んお……っ」

※オホ声継続

A「ふふ……。ボウヤの割には悪くないわね、その腰の使い方。もっとへこへこって、下手くそなセックスするのかと思ってたわ。

ほら……これは、上手に出来てるご褒美。

【移動…右耳・近距離】

【囁き】

ボウヤの乳首……いつばいこりこりしてあげる……。

乳首つまんで、こりこり、くりくり……。いつばい乳首、いじめてあげる……」

B「っおおっおお……っ。おチンポっ、中でまたっ、おっきく……っ。ドラキュリア様の乳首責めでっ、おチンポ感じちやってるなあ……っ？ んっうう……っ」

A「くりくり、くりくり、こりこり、こりこり……。私たちにとってはね、乳首なんて、こうして優しく撫でていればそれでもイカせられちゃうただの弱点……。

弱いところいつばい撫でられて、おチンポバッキバキにして、もっとヴァンプのこと、喜ばせなさい……。

(耳舐め 5秒)

っはあ……。おまけに耳舐めも、お付けしてあげる。ふふふ……。

(耳舐め 5秒)」

※耳舐め継続

B「おおっ、おおんんっ、っおおおっ、おおおっうっ、うっ、っおっ、おおおっうっ、っんんんおおおっんっ、んおっ、おっ、おっんんん……っ。

んっおおおお……っ。おチンポいい……っ。上からずぼずぼつかれてえ……っ。おまんこっ、感じまくりい……っ。

んっ、んうっおっ、んんっおっ、っうっ、っうっ、っおっ、おっ、おおっうっ、んんおっ、おおおっんんっ、おっ、っんん……っ」

A【移動…左耳・近距離】

ええ、そう……その調子……。ピストン上手……。腰振り上手……。

サキユバス相手にそこまで出来るなんて……ふふ、やるじゃない。

(耳舐め 5秒)」

B「んっうう……っ。もっど、もっどお……っ。まだまだこんなものじゃないでしょ……っ。

もっどと激しく、おチンポしてえ……っ。おまんこっ、めちゃくちやに突いてえ……っ」

A「ほら……今度はボウヤの番よ。ヴァンプのおまんこ、いっぱい犯してあげて……。

今まで逆レイプされちゃった恨み……おチンポに込めて……たくましいばこばこピストン、見せてあげて……。

(耳舐め 5秒)」

【効果音…セックス・激しく】

B「んっおおっおおおっおおお……っ。んうおおおっ、おおおっおおお……っ。

どちゅどちゅっ、いっばいっ、んうおおっ、おおお……っ。

んっ、んうっ、おおお……っ、んっ、んっ、っおおっ、おうっうっ、っおおおっ、おおっ、うっ、っんんんっおおおっ、っんっ、っおっ、おっ、んんっ……っ。

おチンポいい……っ。人間おチンポでっ、サキユバスおまんこ……っ。犯されてるう……っ。おおお……っ」

A【移動…左耳・近距離】

ふふ……どうしてこんなにヴァンプが感じてるか、わかる？

あなたがセックス上手だから……じゃあ、ないってことは、わかるわよね……？

それは……あなたの身体が、おチンポが……もうとつくに、私たちの眷属のものになってるから……。

キス、耳舐め、おまんこセックスで……身体の中身、人間のものじゃなくなっちゃったのよ……？

あなたはもう、私たちの仲間……だから、こんなに気持ちいいの……。

(耳舐め 5秒)」

B「んううっ、ほっおおおっおお……っ。んふふふ……っ。

驚いてる顔……っ。すっごくかわいい……っ。あは……っ。

なのにっ、そんな顔してるのにおチンポ止められない……っ。おまんこハメハメ、気持ち良すぎて腰振りやめられない……っ。んっいいいい……っ。

おっ、ほっ、んおっ、おおおお……っ。あっはあ……っ」

A【移動…右耳・近距離】

あなたはもう人間じゃない……寿命だって何倍にもなっちゃってる……。

精液も好きなだけ、どれだけだって出せちゃう……。

飽きるまで、ドスケベセックス……続けられるのよ……？ ふふ……素敵でしょう？

ふふふふ……。

(耳舐め 5秒)」

B「そういうわけだからあ……っ。まだまだいっぱい、えっちしまくっちゃおうねえ……っ。

元人間のっ、優秀おチンポくん……っ。あは……っ。

んんっうっ、っおっ、おおんんっおっ、おっ、っうっ、っうっ、っおっ、おおっうっ、んんんんっおおんっ、っおっ、うおおん……っ」

A【移動…左耳・近距離】

ほら……いいのよ、いつでも精液出しちゃっても。もうあなたのキンタマ、空っぽになることなんてないんだから……。

一生死なずに、無限におまんこできる、男として最高の瞬間……このまま味わい続けちゃいましょうねえ……。

(耳舐め 5秒)」

※二人同時

B「おっ、んんんんっおっ、おっ、うっ、うっ、っおっ、おっ、うっ、んんっ、んおんんっ、っおっ、んんんおお……」

A【移動…右耳・近距離】

(耳舐め 5秒)」

※二人同時

B「っっ、おおっ、んんんんっおおおおっ、おっうっ、っうっ、っおおおっうっ、んっ、おおおんんっ、んんおおっ、おっん……っ」

A【移動…左耳・近距離】

(耳舐め 5秒)」

B「っおおおお……っ。来るっ、来たっ、おまんこアクメえ……っ。んっいいいい……」

っ。おまんこイッグ、イッグ、イッグうう……っ」

A「ほら、出して……。ヴァンプのおまんこに、どっぶり中出し……。」

眷属になった記念に、気持ちいいぴゅっぴゅ、しちゃいましょう……っ？

(耳舐め 5秒)」

B「おおおっ、おおっんんっおおおっ、うっ、うっ、うっ、おおっ、うんっ、んっおっ、んんんおっ、おっ、っんっ、んうう……っ。

おおお……っ。イッグ、イッグ、イグイグ、イッグううう……っ。ほおおっおおお……っ。

んおおっ、出るっ、出るっ、おチンポ膨らんで……っ。おおお……っ。ザーメン来るっ、濃厚チンポ汁っ、中出し来るう……っ。んうおおっおおお……っ」

A「移動…右耳・近距離」

おチンポイケ、おチンポイケ……。いっぱい……いっぱい……出しちゃいなさあい……。はあ……い……」

【効果音…射精】【効果音…セックス 停止】

※二人同時

A「ふっぴゅ、ふっぴゅ、ふっぴゅ、ふっぴゅ、どっぴゅ……。どびゅ、どびゅ、びゆるる、びゅっぴゅら……。ふっぴゅふっぴゅふっぴゅ……」

B「(絶頂)んっうおおおおおお……っ。ほおおっ、おおおおおお……っ。んうおおっ、おおおおおお……っ」

A「ふっふっ……。乳首もこんなに勃起させて……中出し気持ちいいわねえ……。もう何もかも失って……あなたに残ってるのは、快樂だけだものねえ……」

B「ふー……。ふー……。っ、おっおおお……。っ。

あー……。っ、中出し、気持ちいい……。っ。子宮に熱いの流し込まれるの、大っ、好き……。っ。んふふふ……。っ」

A「っはあ……。」

【囁き っ)まで】

ほら、おまんこの中で余韻を味わいたいのわかるけど……そろそろ、おチンポ抜いて。どろどろに汚れたおチンポは、どうしてもらうんだっ？」

B「【移動…正面・下(フェラ用の距離)】

んふ……。そうそう、中出しした後のおチンポはあ……。お掃除バキューム、してもらえんだよ？ おまんこの後も気持ちいいの続いちゃって、最高だよねえ。んくあ……。っ。



(フェラ 5秒)」

※フェラ音継続

A 【移動：正面・近距離】

その間に私は、次のおチンポの準備……。いくらでも勃起出来る魔法のおチンポでも、立たせ方ってものがあるの。

口、開けて……。んうあ……。

(ディープキス 5秒)

っはあ……。ふふふ……」

※二人同時

A 「(ディープキス 10秒)」

B 「(フェラ 10秒)」

A 「(キスしたまま話す) 私たちの時間は、まだまだ終わらない……」

B 「(咥えたまま話す) 私たちの眷属になってよかったって思っちゃうぐらいの、最高の体験……させたいからねえ……」

※二人同時

A 「(ディープキス 10秒)」

B 「(フェラ 10秒)」

※二人同時

A 「(キスしたまま話す) ふふふふ……」

B 「(咥えたまま話す) んふふふ……」

※二人同時

A 「(ディープキス 10秒)」

B 「(フェラ 10秒)」

(フェードイン)

## 第5章

【A：位置：正面・バック用の位置】

△「ほら、今度は私。こっちの穴、使ってみて。

私の、お尻のあ・な。

ふわとろサキュバスアナルで、おチンポ気持ち良くしてあげる。

【効果音…水音】

んっお……っ。そう、そのまま……っ、入れて……っ。

【効果音…挿入】

んっおっおおお……っ。んっうう……っ。ケツ穴にチンポ、来たああ……っ。

【効果音…セックス 開始】

んっ、んんっうっ、おおおんっ、んっ、っおっ、っうっうおおおっ、おおうっ、んっ、っ  
おっ、おっ、おっ、っんっ、んおっ、おおおっんっ、

おっんっおっ、おうっ、うっ、おっ、おうっ、っんっ、んっおお……っ、おおおっ、んん  
っ、おおおお……っ、んんっ、んうおっお……っ」

※オホ声継続

【B：位置…左耳・近距離】

B「囁き」ドラキュリア様のアナル、気持ちいい？ んふ……。

(耳舐め 5秒)

っはあ……。

【移動…右耳・近距離】

んふふ……。サキュバスはおトイレなんかに行かないから、お尻の穴もね、えっちするた  
めだけにあるんだよ？

おまんことは違う、もう一つの精液受け止めるためのハメ穴、ケツマンコ。

おチンポどちゅどちゅすると、おまんことはぜんぜん違う感触で、新鮮でしょう？

(耳舐め 5秒)」

A「んっお、っおおお……っ。お尻っ、きゅうきゅうしまっちやう……っ。デカケツ尻肉  
っ、あなたにおチンポ叩きつけられるたびにっ、波打ってえ……っ。っおおおお……っ。  
気持ちいい……っ。んうっおおおお……っ」

B「ほら、もっと奥……もつといっぱい、おチンポ突き刺してみて。

おまんこと違って、お尻には子宮がないから、どんな奥まで入っていくよお……」

A「んっおお……っ、奥っ、どんどん中にい……っ。っおおおお……っ。お尻の穴っ、深い……っ。おおおお……っ」

B「あはっ、そうそう……。お尻の穴の奥の方、いっぱいんとんしてあげてねえ……。

(耳舐め 5秒)」

A「

【効果音…セックス・激しく】

んっおおおお……っ。奥っ、広がったカリ首で、えぐられっ、つてえ……っ。これっ、すっごお……っ。っおおおお……っ。

んっ、おおおっうっ、うっ、っおっ、おうっ、んんっ、っおっ、おんんんっおお……っ。

んんっうっ、おおおっんんっ、んおおおっ、っうっ、っうっ、おおっ、おうっ、っんんおおおっんんんおおっんっ」

B【移動…左耳・近距離】

あっはあ……。おチンポ上手。どんどん腰振りうまくなってくねえ。サキュバスが本気で感じさせられちゃってる。

私もお尻ほじほじされるの、楽しみだなあ」

A「んっ、っうっ、っおっ、っんっ、んおっ、うっ、っうっ、っおっ、おおっ、うっ、っんっ、んおおっ、おおっんんっおおおっ。

おおおお……っ。イッグっ、イッグうう……っ。ケツ穴イグっ、アナルイッグうう……っ。眷属チンポでっ、アナルアクメえ……。んおおおお……っ」

B「さあさあ、中出しだよ。お尻の穴に、いっぱいお射精びゅっびゅするんだよ。」

おチンポぐりぐり動かして、サキュバスアナルぐっちゃぐちゃにかき回しながら、びゅっびゅっびゅ、だよお……。

おまんこだけじゃなくって、お尻の中までせーんぶ、キミの精液で真っ白に染め上げちゃえ。

(耳舐め 5秒)」

※二人同時

A「おおおっおおお……っ。イグイグイグっ、んいっぐ、ひっぐうう……っ。んうおおおお……っ。んうおおおお……っ」

B「イケ、イケ、イケ、イケ。出せ出せ出せ出せ。どっぴゅんしちゃえ。おチンポイケ、

おチンポイケ、出せ出せ出せ出せえ……っ」

【効果音…射精】

※二人同時

A「(絶頂) んうおおおおおおおお……っ。ほおおおっ、んうおおおっ、んうううっおお、おおっおおおっおおおっおおお……っ」

B「びゅー……っ、びゅー……っ、びゅー……っ。どっふ、どっふ、ザーメンどっふどっふ……っ。ケツマンコにお射精……っ、アナル中出し、びゅっふびゅぶう……っ」

※二人同時

A「おっおおお……っ。おっ、おっ、あっっいい……っ。お腹っ、どろっどろのザー汁、流れ込んできて……っ。んうおおお……っ。あー……っ、アナル中出しアクメ、気持ちいい……っ」

B「(耳舐め 5秒)」

A「【効果音…ペニス引き抜く】

んっお……っ。んっう、ふっう、ほっお、おおお……っ」

B「【移動…右耳・近距離】

んふふふ……。おチンポびっくびくに喜んでは……。アナル中出し、気持ち良かったねえ。

ただどお、そんなすんごい快感を、キミはもう一回味わえるんだよね。んふふ……。

【囁き ここまで】

【移動…正面・バック用の位置】

ほうら……今度は私のケツ穴。使ってみて。サキュバスアナル、味比べだよ」

A「【移動…右耳・近距離】

【囁き】

っはあ……。今度は私が、ボウヤのお耳、愛してあげるから……。あなたはヴァンプとのアナルセックス、たっぷり楽しんでちょうだいね」

B「【効果音…水音】

んうっお……っ、おお……っ、チンポ、かったあ……っ。

【効果音…挿入】

んっいいいいいい……っ。おっ、ほっおお……っ。アナル、どっちゅん来たあ……っ。  
おっおおおお……っ。ケツ穴、拡がって、っおお、んっおお……っ。

【効果音…セックス 開始】

おおおおおっ、んんっ、おっほおっ、おおっうっうっ、おおっ、っううんっ、っんうんっ、  
んんうおおんっ。おっんっ、っおおっ、おうっ、っうっ、おおおうっ、っんっ、んっ、っお  
っ、おおんんんおおおっ」

※オホ声継続

A「(耳舐め 5秒)

っはあ……っ。また乳首も、すりすり、くりくり……。乳首も乳輪も、ねっとりこすって  
え……。んっう……。

(耳舐め 5秒)」

B「んっいいいい……っ。アナルでチンポっ、暴れてるうう……っ。ほっおおおおお  
……っ。

うおおおっ、おっんっ、っおおっ、おうっ、うっ、おおっ、おっうっ、っんんっおおお  
んんっ。ああっああ……っ。お尻っ、火傷しちゃいそうだよお……っ。んううう……っ。

お尻の中っ、おチンポでっ、こねくり回されて……っ。ほっおおおお……っ」

A「【移動…左耳・近距離】

(耳舐め 5秒)

勃起乳首い……っまんで、くりくり……。アナルほじほじセックスしながらあ、甘あく  
乳首責めえ……。

出したばっかりのキンタマにい、どんどん精子作られちゃあう……。

あっという間にタマタマぱんっぱん……。

(耳舐め 5秒)」

B「っあああ……っ、そっっ、そっお……っ。そのとっっ、ぐちぐちいつて……っ。っお  
おっおお……っ。

おチンポいっぱいしてもらうの好きいい……っ。んっおおっ、ほおおお……っ。おおっ  
おおおおお……っ。

【効果音…セックス・激しく】

んっいいいいいい……っ。んうおおおっ、ほっおおおお……っ。あー……っ、お尻っ、

いいいい……っ。アナルガン突きっ、すっごいのお……っ」

△【移動…右耳・近距離】

乳首たっぷりすりすりされながらあ、ケツ穴ほじりい……。背中に爆乳押しつけられて、サキユバスサンドイッチでたっぷりパコハメ……。

最高でしょう……？ 私たちの眷属になれて、よかったわねえ。ふふふ……

(耳舐め 5秒)」

B「んうおおおおっ、イググ、イググっ、お尻イグっ、アナルイググううう……っ。ほっお  
おおっおおお……っ。

出してっ、出してっ、アナル中出しっ、どびゅどびゅ出してえ……っ。んっいいいい……  
っ。んっおおっ、ほっおおお……っ。

イググ、イググ、イグイグっ、イググうう……っ。んうっおおおお……っ」

△【移動…左耳・近距離】

ほうら……。出せ出せ、どっぷり出しちゃえ……。出した側から補充されるおチンポザー  
メン、ケツマンコに中出しい……。

どろっどろの白濁濃厚ゼリー、尿道からあふれ出る快感、いっぱい味わっちゃえ……。

(耳舐め 5秒)」

B「イグイグイグイグっ、イグイグイグイグイグイググうううう……っ。

おおおおお……っ。イググうううううううううう……っ」

【効果音…射精】【効果音…セックス 停止】

※二人同時

A「ぶっびゅ、ぶっびゅ、どびゅどびゅ、びゅぶぶぶぶぶう……。ケツ穴中出し、アナルに  
ザーメン注ぎ込みお射精……。びゅっびゅっびゅう……」

B「(絶頂)んうおおおおおおお……っ。ほおおおっ、んうおおっおおお……。うっ  
おっ、おおおおお……っ。おー……っ、ほっおおおー……。おっ、おっ、おお……っ」

※二人同時

A「(耳舐め 5秒)」

B「んうううう……っ。お尻にっ、ザーメン……。いっぱい出てえ……。あー……。っ、  
脳みそとろけちゃいそう……っ。

あっはあ……。っ。お尻えっち好き……。っ。アナルぬっちゃぬっちゃに犯されるの、だあ  
い好き……。っ。んふふふふ……。っ」

△【移動…右耳・近距離】

ふー……、ふー……、ふー……、はーあ……。ふふふ……

【囁き　　まで】

【移動..左耳・近距離】

んっう、はあ……。んふふ……。おチンポ気持ち良かったねえ。

ねえ、今度はどんなえっちしょつか。もっともっと気持ちいいこと、いっぱいしょよよ」

「ええ。私たち、まだまだ満足できてないの。もっとあなたのおチンポで、たっぷり気持ちよくして欲しいの。」

ちよおく……ん……？」

B「あれ？ キミ？ おうい、どうしたの？ ねえねえ、うそ、氣い失つてない？」

「あらあら……。せつかく眷属になれたのに……。心の方が保たなかったみたいねえ。弱

いボウヤ……」

B「なんだよ、もう。まだまだよわよわザコザコだね。んふふふ」

△「まあいいわ。次起きたときには、たつぷりお仕置きしてあげるから……覚悟しときなさい。」

」……」

## 第○章

【A・B：位置：正面・中距離】

「あら？　ようやくお目覚めみたいね」

B「やっと起きたの？ キミつてば、丸一日眠ってたよ？」

「まあ、眷属になったばかりだとたまにあることよ。気にしなくてもいいわ」

Ｂ「いいや、私は許さないよ？　せつかく無限にえっちできると思ってたのに。これは特訓が必要だよ」

「特訓?……ふふ、まあそれも面白そうね。いいわ、やってみましょうか」

B「よししつ。それじゃあドラキュリア様はあつちねえ」

【△..移動..右耳・近距離】

【B ..移動..左耳・近距離】

A「さて……それじゃあどうするの？ ヴァンプ」

B「そうだねえ……。手コキ耐久ゲーム、なんてどう？」

「手コキ耐久？」

B「そうそう。私たちがキミのおチンポ、いつっぱいしこしこするからあ、キミはぴゅっぴゅしないように、必死に我慢するの」

▷「なるほど……。射精しちやったらボウヤの負けね」

「そう。もちろん負けたらお仕置きだからね。じゃ、始めるよ。おチンポ握ってえ……」

A「ㄣㄣㄣ」始め……」

【効果音】手コキ 開始

※二人同時

A「アハハハ、アハハハ、おチンポがしこりて、アハハハ、アハハハ、お……」

[illegible]

「一晩眠っていたおかげで、おチンポ自体はすっかり回復しちゃってるわね。ここからでも匂いがわかつちゃうぐらい、精液、キンタマに詰まっちゃってる……」

B「けどそれは、キミにとっては不利なことだね。キンタマぱんつぱんだと、あつと  
う間にぴゅっぴゅしたくなっちゃうもんね」

「お置きされなくなったら、しつかり我慢するのよ？」

B「そうだよ。それに、このゲームも、こんなただの手コキだけで終わるなんて思わないよね？」

ほら……おっぱい、ちゅうちゅうして」

A「あら。面白そうね。はい、私のも」

Ｂ「私達のおっぱい、いっしょにちゅぱちゅぱ飲んで、授乳手コキでおチンポ、責めたげ  
る。

ほうら。ちゅーちゅーどうぞお」

A「っあん……。っ。乳首啜えられて……。っ、んっううう……。っ」

B「んっはあ……っ。乳首ぺろぺろ上手上手、おつきな赤ちゃんみたい」

「いくらサキュバスでも、妊娠してなければ母乳は出ないの。それはごめんなさいね」

B「ふふ。そんな謝らなくても、この子はすごくうれしそうだよ？　　っあんっ。ほら、乳首すっごい吸い付いてくる……っ」

「んっうん……っ。ホント……。もしかして、乳首いっぱい吸って、私たちのこと感じさせれば、手コキが緩むかも……って、思ってる？」

「あは。だけど残念でした。そんなことしたって、おチンポしこしこは緩みませうん。キミのおチンポしっかり握って、しこしこ続けちゃいまあす」

A「アハハハ、アハハハ、アハハハ……」

B「おチンポいいこ、いいこ、いいこ。おっぱい吸ってガチガチおチンポ、かわいいねえ」

△「あらあら。我慢汁、出てきちやつてるわね？　ふふ、こんなことでおチンポびゅっぴゅ我慢できるのかしら」

B「ダメだよ、しっかり我慢しないと。おっぱいちゅうちゅうで興奮しちゃってるんだろ



うけどさあ。よわよわおチンポ、いけませうん」

A「いくらお遊びとはいえ、勝負なんて言われたら、こっちだって手は抜かないからね。

それに……ヴァンプにだけ任せておくのもよくないし。私からもボウヤのこと、いっぱい責めてあげる。

【囁き】

ボウヤの大好きな……耳舐めで、ね。

(耳舐め 5秒)

っはあ……。ふふふ……」

B「あはっ。さっすがドラキュリア様。

【囁き】

私もお耳、いっぱいぺろぺろしちゃおうと。んっう……。

(耳舐め 5秒)

っはあ。んふふふふ」

A「ほら……今度は二人一緒に……」

B「お耳、どうかしてあげるう……」

※二人同時

A「(耳舐め 10秒)」

B「(耳舐め 10秒)」

※耳舐め継続

A「お耳に長あい舌が、つぶつと入って……れろれろれろ……」

B「お耳の奥の方まで、にゅっぽりいっぱい舐められてえ……」

※二人同時

A「(耳舐め 10秒)」

B「(耳舐め 10秒)」

A「ふふ……これがおチンポに効くんでしょう？ ほら……カウパ―の量、増えてきてる。私たちの手、我慢汁まみれでべっとべとお……」

B「よくないなあ……。ちゃんとおチンポ我慢してるのお？ 手コキ、ただ楽しんじやつてるだけじゃなあい？」

A「ふふふ……。でも、それもしようがないわよねえ。いくら眷属になったとはいえ、元は人間……」

こんなにいっぱいおチンポいいいいいいもらうことなんて、なかったでしょう？  
楽しみたくなるわよねえ……」

B「そうだねえ……。それもサキユバス相手にだもんねえ。おチンポいっぱいよしよししてもらえて、うれしいよねえ……」

A「ダブル爆乳サキユバスと、こおんなに密着して……身体中で甘い匂いとあったかい体温、感じちゃってえ……」

B「おチンポもキンタマのドキドキワクワクで、エロエロになっちゃうのかもしれないよねえ……。おチンポ、気持ちいいもんねえ……」

※二人同時

A「〔耳舐め 10秒〕」

B「〔耳舐め 10秒〕」

A「ほら……ここも好きなんでしょう？ ポウヤのエロ乳首……すりすり撫でてあげる……」

B「私も、こっちの乳首、きゅってつまんで……くくり、くくり……」

A「二人いっしょに乳首責め……してあげるう……」

※二人同時

A「〔耳舐め 10秒〕」

B「〔耳舐め 10秒〕」

B「乳首、こりっこりだねえ……。おチンポと同じくらい、硬あく勃起してえ……やらしい乳首い……」

A「乳首とおチンポ繋がってえ、乳首いじられるたびにおチンポびくびく……」

B「おチンポしこしこされるたびに、乳首もあつくなくてきて、どんどん勃起……。えっちだねえ……」

※二人同時

A「〔耳舐め 10秒〕」

B「〔耳舐め 10秒〕」

A「おまんこ以外でも、おチンポたっぷり甘やかしてもらえてうれしいわねえ……。おチンポだあい好きなドスケベサキユバスに、おチンポのお相手してもらえて……よかったわねえ……」

B「我慢汁たっぷり指に絡めて、ぐっちゅぐちゅのにゆるにゆる手コキい……。ザーメンお漏らししたくなってきちゃうよねえ……」

A「ねえ、出したい？」

B「おチンポイキたい？」

A「ところろお手々オナホでおチンポにゆふにゆふしごかれて、真っ白チンポ汁、びゆるびゆるびゅー……」

B「根元から先っぱまで、優しくおチンポしごいてもらいながら、どっふ、どっふ、どっふ、どっふ、どっふ……。最高の手コキ射精、したいよねえ……。？」

※二人同時

A「〔耳舐め 10秒〕」

B「〔耳舐め 10秒〕」

A「なら……我慢、やめちやおっか？」

B「もう耐久ゲームなんかやめて、おチンポ気持ちよくなっちゃおっか？」

A「ほら……おっぱい、またちゅうちゅうして？」

B「授乳手コキでおチンポ、イカせてあげる」

A「乳首ばくってしたら、おチンポたつくさんしこしこしてあげる……」

B「キミがおっぱいちゅうちゅうするたびに、おチンポしこしこ、強くしてあげる……」

※二人同時

A「〔耳舐め 10秒〕」

B「〔耳舐め 10秒〕」

※二人同時

A「ほら……おっぱい、どうぞ……」

B「ほら……おっぱい、どうぞ……」

【効果音…手コキ・激しく】

A「(っ)っ(っ)っ(っ)っ(っ)っ(っ)っ(っ)っお……」

B「(にゅ)にゅ(にゅ)にゅ(にゅ)にゅ(にゅ)にゅ(にゅ)にゅ……」

A「おっぱいちゅうちゅう気持ちいい……。爆乳おっぱいちゅばちゅば授乳、甘々で最高……」

B「いっぱい甘えたくなくなっちゃうねえ。おっぱいむしやぶりつくの、気持ちいいよねえ……」

A「ほら、いいのよ。おチンポたっぷり甘やかされながらイッちやいましょう？」

B「お手々オナホにいっぱいザーメンぶちまけちゃお？ 二人のおっぱいたつくさん味わいながら、おチンポ出しちゃお？」

A「はっ、べっぞ。べっぞお……」

B「出していいよ。ほかほかおチンポミルク、どっぴゅんしようねえ……」

※二人同時

A「おチンポどうぞ、おチンポどうぞお……。はあくい……」

B「おチンポどうぞ、おチンポどうぞお……。はあくい……」

【効果音…射精】

※二人同時

A「ぴゅっぴゅっぴゅっぴゅっ……。どぴゅどぴゅどぴゅどぴゅっ……」

B「びゅー……。びゅー……。びゅー……。どふとふとふとふと……」

A「いっぱい出たわねえ……。たっぷりお漏らし、気持ちいいわねえ……」

B「甘々お射精最高だよねえ……。どんどんザーメン出てきちゃうねえ……」

A「でも、これで……。【囁き っっまづ】」

B「キシの……。負あけ。んふふふ……。【囁き っっまづ】」

A「ふふふ……。勝負のこと、忘れてたのかしら。遠慮なくお射精しちゃうなんて」

B「確かに私、ゲームなんかやめてくって言ったけど、本当にやめるなんて言っていないよ？」

A「あんな言葉に騙されて、おチンポお漏らしちゃうなんて。やっぱりまだまだポウヤっ  
っっっね」

B「ホントホント。まだまだお子ちゃまだねえ。」

【移動…正面・近距離】

お子ちゃま眷属にはあ、甘々ちゅっちゅ、してあげる」

A「【移動…正面・近距離】

私たちには一生勝てないってこと……甘ったる〜い濃厚べろちゅーで、刻みつけてあげ  
ちやうわ」

※二人同時

A「(ディープキス 10秒)」

B「(ディープキス 10秒)」

A「べろちゅー、気持ちいい？ 雑魚チンポボウヤ。ふふふ……」

※二人同時

A「(ディープキス 10秒)」

B「(ディープキス 10秒)」

B「ずーっとずーっと負け続き。よわよわチンポ。恥ずかしい」

※二人同時

A「(ディープキス 10秒)」

B「(ディープキス 10秒)」

A「そのまま弱いままでもいいからねえ……。そうしたら、いつまでもこうして、甘々えっち、させたげるから……」

※二人同時

A「(ディープキス 10秒)」

B「(ディープキス 10秒)」

B「オスとして恥ずかしい人生になるけど……。気持ちいいなら、それでもいいよね。いつまでも私たちのおチンポペットとして、飼い続けてあげる」

※二人同時

A「(ディープキス 10秒)」

B「(ディープキス 10秒)」

※二人同時

A「んんんんん……」

B「んんんんん……」

## 第7章

【A1・B1：位置：正面・近距離】

A「さあて……。それじゃあ、手コキに耐えきれなかったボウヤには、お仕置きしなきゃね」

B「うんうん、お仕置きけつていい。って、私、何にも考えてなかったんだけど。ドラキュリア様、なんかある？」

A「ええ、もちろん。」

(ヴァンプに耳打ち)「……いい？ あのね……」

B「……あは。さっすがあ。すっごく面白そう。」

じゃあ、そういうことで……」

A「ええ、お仕置きタイムよ。」

【効果音：指パッチン】

【効果音：魔法的な音・A】

【A2：位置：右耳・近距離】

【B2：位置：左耳・近距離】

※二人同時

B2「んふふふ……」

A「どう？ 私たちの分身よ。もちろん、おっぱいもおまんこも、本物といっしょ」

B「私たち本物と分身、合わせて四人で……思いっきりキミのこと、逆レイプしちゃうの。あはっ、面白そうでしょ」

A「情けないあいおチンポへのお仕置きはあ……」

B「おチンポで、受けてもらうってこ・と」

A「それじゃあ、始めましょうか？」

※四人同時

A「四人のサキュバスと、お仕置き大乱交」

B「四人のサキュバスと、お仕置き大乱交」

A2「四人のサキュバスと、お仕置き大乱交」

B2「四人のサキュバスと、お仕置き大乱交」

（場面転換）

【A：位置：正面・近距離】

【A2：位置：背面・近距離】

【B：位置：右耳・近距離】

【B2：位置：左耳・近距離】

（フェードイン）

【効果音…セックス 開始】

A「おおっんっ、っおおおおっうっ、っうっ、っおおおっ、おっうっ、っんんっ、んおおっ、っんんんおっ、んんん……っ。

ほっおおお……っ。ほら、もっとお……っ。もっとなきなさい……っ。んうおおお……っ。

この私が、足上げ立位なんていう恥ずかしい格好、してあげてるんだからあ……っ。んうっおおお……っ。んっ、おっ、ほおおっ、んううおおお……っ。

(ディープキス 5秒)

んんんんうっ、っおおっ、おっ、おんんんっ、おおおっ、おうっ、っうっ、っおおっ、おっ、うっ、んんんんっおっ、おっ、おっんっ、んおっ、おおんっ、ん……っ」

※オホ声継続

B【囁き】ハーレムえっち気持ちいいねえ……。四人のサキユバス、みんながみいんな、キミのことがだあい好きで、おまんこ濡らしちゃってるよお……。

キミのかあっこいいおチンポと、無限のキンタマでえ、全員満足させてあげようねえ……」

B2【囁き】あは……っ。無理無理。キミの雑魚チンポなんかじゃあ、満足なんてさせられないよね。

ほうら、へこへこ腰振り、せいぜいがんばって。よわよわおチンポ、いつもみたいにあってという間にびゅっびゅしちゃうね」

※二人同時

B「(耳舐め 10秒)」

B2「(耳舐め 10秒)」

※耳舐め継続

A「んうっおおっ、ほっおおっおおお……っ。あっああ、いいい……っ。おチンポハメハメっ、気持ちっ、いいい……っ。んおっおおお……っ。でもっ、まだ足りない……っ。もっとおチンポ、勃起っ、激しくう……っ。

(ディープキス 5秒)

みんなで囲んであげてるんだから、んっおお……っ。もっとな来る、はずでしょう……？んうっおおお……っ」

A2「ほうら、むにゅむにゅおっぱい、もっとなぎゅってしてあげるから……。四人分のサキユバスフェロモンと、甘いむちむちおっぱいの匂い、たっぷり嗅いでえ、おチンポガチガチにさせなさい……」

B「キミのぶっついおチンポで犯されるとお、サキユバスおまんこあつという間にとろけち

やうんだよお……。

ドラキュリア様のドスケベオホ声聞こえるでしょ？　これ、本気で感じてる時の声だよお……。

えっぐいオホ声、もつと出させてあげて。気高いサキュバス、キミのおチンポでメスにしてあげようねえ……」

B2「無理無理。そんなのぜくつたい無理。だって、おチンポ自体はよくっても、キミの力がまだまだなんだもんね。」

よわよわへこへこ下手くそセックスじゃあ、これ以上感じさせてあげるなんて無理だよ。満足させる前に、どびゅっちゃうのが限界。んふふふ……」

A「んんっ、おおおおっ、おおおおおっ、うおおおおっ、おっ、おおっ、おおおっ、ほおおお……っ。

んっおおおお……っ。子宮っ、こっつ当たって……っ。ほっおお……っ。眷属チンポでっ、入り口……っ。えぐられっ、るう……っ。

届くっ、奥っ、どちゅどちゅ、おほっおお……っ。んうっおっ、ほっおおお……っ。

そこっ、もつとそこお……っ。そこっ、されるの……っ。好きなお……っ。んうううう……っ。

(ディープキス 5秒)

サキュバス子宮っ、んうっ、おおお……っ。私のっ、子作り部屋……っ。いっぱい突いて……っ。もつと、もつとお……っ」

A2「んふふふ……。頭ぜんぶ包まれるパイズリでえ、おチンポピンツピンになつてるみたいねえ。普段は届かないところ、届いちゃってる……。

ほら、もつとがんばりなさい。私のおまんこ、いっぱい突くのよ」

B「(応援) がんばれがんばれ。おまんこ子宮は、サキュバスも人間も変わらない、最高の性感帯だよ。そこいっぱい突いてくれる人のこと、女の人のはだあい好きになっちゃうの。

ただでさえ大好きなキミのこと、もつと好きになっちゃうよ。ほら、いっぱい突いて。ドラキュリア様のこと、キミだけのメスオナホにしちゃえ」

B2「(煽る感じで) がんばれがんばれ。無意味なセックスががんばれよ。そんな程度のばこばこじゃあ、メスオナホになんて絶対無理。情けない眷属おチンポ止まりだよ。

もつと激しくばこつてみるよ。どうせできないだろうけど。んふふふ……」

【効果音…セックス・激しく】

A「んっおおっおおおお……っ。おっほっ、ほっおおお……っ。そう、そうよっ。んうっおおおお……っ。そこっ、もつとっ、もつともつとお……っ。ほっおおっおお……っ。



あっああ……っ、好きっ、好きっ、おチンポどちゅどちゅっ、子宮口拡張られるのっ、好きいい……っ。んうおっおっおっおっおっお……っ」

A2「ふふふ……。お顔がすっごく熱くなってきちゃってる……。おチンポもきつととって熱くなってる、おまんこ焼けちゃうぐらいになってるんでしょうねえ。

ドキドキパイズリでおチンポあつ……。キンタマの中身も、ぐつつぐつの沸騰中……。ふふふふ……」

B「こりこり子宮狙い撃ち、上手だよ……。いっぱいいっぱいどっちゅんしてね。龟头何度も押しつけて、子宮口とろけさせちゃって。」

そしたらそこに、ザーメン出すんだよ？ あったかところろ精液ミルク。いっぱいどっぴゅんしちゃおうねえ」

B2「ザーメン無駄撃ち近付いてきてるね。どうせ孕ませられないのにね。必死にセックスがんばっても、ぜくんぶ無駄。キンタマはがんばってるのに、キミが情けなさ過ぎて子作りできない。かわいそう」

A「おっお、んうっお、ほっおお、ふううう……っ。

ええ、いいわ、出して……。精液、出してっ、出してえ……。子宮っ、降りてきてるの、わかるでしょう……。？ そこに出すの……。どびゅどびゅっ、濃いっ、全部注ぐのよ……。っ。おっおお……。っ。

イグ、から……。っ。私っ、もう……。っ。おまんこっ、イグから……。っ。おっお……。っ。

(ディープキス 5秒)

ふっ、おっ、おっ、ふうう……。っ、ボウヤの、どろっどろの種付けザー汁……。っ。一滴残らず、注いでちょうだい……。っ」

A2「ほうら……。出しちゃえ出しちゃえ……。中出し待ち中のサキュバス子宮に、眷属ザーメンびゆるびゆる出しちゃえ……。

おっぱいむぎゅってしてあげるからね。柔らかおっぱいで顔包まれながら、中出しするのよ……。っ」

B「はいよ、出して……。いっぱい出してね……。キミのほっかほかの新鮮精液、子宮に直出ししちゃってえ……。

今までがんばってきた最後の最後に、もうひとがんばり。サキュバスおまんこに、全力中出し決めちゃおうねえ……」

B2「ほらほら、イケイケ……。っ。意味なし中出しととと出しちゃえ。絶対妊娠させられない雑魚チンポ、お漏らししちゃえ……。っ。

命令されて、その通りにイクことしか出来ない眷属チンポ、とととイッちゃえ……。っ」

※四人同時

A「おっおお……。っ。イグイグっ、イグイグイグうう……。っ」

A2「イケ、イケ、イケ、イケ、イケ、イケ……っ」

B「出して、出して、出して、出して……。いっぱい出してえ……」

B2「出して、出して、出せ出せ出せ出せ。敗北精液、出して……っ」

### 【効果音…射精】

#### ※四人同時

A「(絶頂)んうおおっおおっおおっおおお……っ。ほおおお……っ。んうおおっ、ほおおお……っ」

A2「ふっぴゅっ、どっぴゅっ、ぶっぴゅっ、びゅるるっ……」

B「ふっぴゅん、どっぴゅん、どっ、どっ、どっ……」

B2「ひゅー……っ、ひゅー……っ、ひゅー……っ。ぶっぴゅー……っ」

A「おっおおお……っ。出て、るう……っ。あっついので、子宮に注がれて……っ。ほっお  
おおお……っ。あー……っ、気持ちいい……っ。とろとろザーメン、いっぱい、中にいい  
……っ。

### 【効果音…ペニス引き抜く】

んっほあ……っ。はっあ、ふう……っ。

はあ、はあ……。ふふふ……。中出しのあとは、ちゃあんと……。

### 【移動…正面・下(フェラ用の距離)】

っはあ……。残り汁、お掃除フェラしないとね……んっうあ……っ。

(フェラ 5秒)」

#### ※舐め音継続

### A2「移動…背面・下」

私も……残り汁ぜんぶ出せるように、ボウヤのアナル、舌でほじほじしてあげる……。  
んえあ……。

(アナル舐め 5秒)」

#### ※舐め音継続

B「あは……。っ。どうだった？ いっぱい甘やかされながらのばこばこ。気持ち良かったで  
しょ？」

バカみたいに誘導されて、こっちの言うとおりにおチンポしちゃって。犬みたいでかわいかったよ〜」

B2「おチンポががんばったね。えらいえらい。言うこと聞けるだけでも充分だよ。そんなこともできないぐらいの雑魚チンポもいっぱいいるもん。」

キミはとっても偉いんだよ……。よしよし、よしよし」

※二人同時

B「(耳舐め 10秒)」

B2「(耳舐め 10秒)」

A「(フェラ 5秒)

んっへぁ……。っはぁ、はっぁ……。っ。精液の味、どんどん良くなって……。っはぁ……。っ。とっても美味し……。っ

(フェラ 5秒)」

A2「くっさいお尻の穴も、最高よ……。っ。もうすっかり、立派な眷属になったわね……。っ。っ)までよく育ってくれたわねえ。ふふ……。

(アナル舐め 5秒)」

B「ほうら。さつさと残り汁も出し切っちゃえよ〜。順番詰まってるんだよ〜？ 私、早くキミのおチンポいじめたくってたまんないんだからさ〜」

B2「キミはとっても優秀だから、次もがんばれるよね？ こんなところでギブアップなんかしないよね？

いっぱい応援してるから、がんばろうね。キミなら出来るよ。ぜ〜ったい、出来るよお……。っ」

A「(フェラ 5秒)

っはぁ……。っ。はぁ、はぁ、はっぁ、ふー……。っ。

ふふふ……。っ。とってもよかったわ。これはかなり大満足ね。

本当に……。立派になったわね」

B「じゃあ、次は私の番だから。ドラキュリア様に出したのと同じぐらい出さないと、許さないんだからね〜。んひひひ……。っ」

## 第8章

【効果音：ベッド軋む音】

【A：位置：正面・中距離】

【A2：位置：左耳・近距離】

【B：位置：正面・近距離】

【B2：位置：右耳・近距離】

B「私はやっぱり、サキュバスらしく犯してあげる方が好きだからあ…………つ。

【効果音：挿入】

んっおおお…………つ。はっあ…………つ。騎乗位ハメハメ逆レイプ、しちやうからね…………つ。  
搾り尽くされないように、しっかりおチンポとキンタマ、気合い入れててよお…………つ。

【効果音：セックス 開始】

んっほ…………つ、おっ、おっ、おおおっ、んっおお、おおおっお…………つ。おお…おっほお  
おおおっ、おおっ、おおおおお…………つ。

んんん…………つ、うほおっ、おおおっ、おおお…………つ、おおっ、うっおおっ、おおっううう  
…………っ」

※オホ声継続

A「だからって、こつちを放っておくのはなしよ？ おまんこ、お顔に乗つけてあげるから  
…………。媚薬愛液、たっくさん舐めてね？」

A2「【囁き】ふふ…………ボウヤにそんな難しいことできるのかしら」

B2「【囁き】一方的にレイプされて終わらないように気をつけてね。んふふ…………っ」

※二人同時

A2「(耳舐め 10秒)」

B2「(耳舐め 10秒)」

※耳舐め継続

B「んっう、ほっおお…………つ。おっおお…………つ、おチンポいい…………つ、っああ…………つ。こ  
れっ、ホントに…………つ。奥っ、届く…………つ。おっおおお…………つ。

どっちゅんどっちゅん、杭打ちピストンでっ、ほっおおお…………つ。子宮っ、押し込まれっ、  
るう…………つ。おおおおお…………っ」

A「んっう、ほっおお…………つ。そう、そう、そこお…………つ。んううおお…………つ。ぺろぺろ上

手ねえ……っ。んふふ……っ。おっ、おっ、愛液、溢れてきちゃう……っ。くっおおおん……っ」

※小さくオホ声継続

A2「逆レイプだとおチンポ動かさなくっていいから、楽でいいわねえ。ある意味、最高のご奉仕セックスみたいなもののねえ……」

B2「だけどその分、おチンポ勝手にイッちゃったら悲惨だよ？　もう限界くってなっても無理矢理立たせておまんこ続けちゃうもん。

だって、レイプ、なんだもんねえ。んふふ……」

B「んおっお、ほっおおお……っ。おっ、おっ、これすごっ、んうううう……っ。おまんこっ、逆レイプしてるのにつ、ほっおおお……っ。こっちが犯されちゃってるみたい……っ。ほおっ、おおっ、ほっ、おおっ、んうおっ、おおおっ、ほっおお、んうおっ、おおっ、うんんっ、ほっお……っ。

ほっおおお……っ。あー……っ、子宮効くっ、子宮効くっ、ポルチオセックス、たつまんない……っ。ほっおおおお……っ」

A「んっ、おっ、んっおおっ、んっおん……っ。ほっおおお……っ。

ほら、もつと舌、おまんこの中に入れて……っ。大丈夫、さっきたっぷり出してくれたあなたのザーメンは、子宮の中に閉じ込めて、ぴっちりお口閉じちゃってるから……っ。

中にあるのは私のあったかあいおまんこ汁だけよ……っ。だから、さあ……っ。もつと中に、舌、突き刺してえ……っ。んうううう……っ」

A2「何をびくびく身体を震わせてるの？　もしかして、もうおチンポイッちやいそう？　媚薬サキユバス愛液ごくごく飲みながら、おチンポ逆レイプされて、あっという間に？」

ダメよ、ダーメ……。まだ絶対イクな。全然満足できてないんだから……」

B2「おチンポしっかり気合い入れてって言ったでしょ？　ただ勃起させてるだけならお馬鹿ちゃんでも出来るんだよ？

仮にも眷属だって言うんなら、おチンポバッキバキに太くして、おまんこ喜ばせるの。ほら、おチンポもつと勃起、勃起……っ」

B「んっううっ、ほっおお、おおおっ、んうううう……っ。

っあああ……っ。おチンポ、また一回り、ぶっとく……っ。んっうううう……っ。子宮っ、完全におチンポにくっついて……っ。んっうううう……っ。

【効果音…セックス・激しく】

っおおっ、んっおおっ、っっおおおおおお……っ。

おおおっ、おおおおおっ、おおおっ、うっほお、おおっほお……っ、おおっ、んうおお、

おおおお……っ、んっうっおお……っ。

んっいいいい……っ。デカケツ振り乱して叩きつけるの、ヤッバい、よお……っ。んっううう……っ。おっ、っおおおっ、子宮っ、好きになっちゃってる……っ。

キミのおチンポとっ、らぶらぶちゅっちゅっ、おっ、おっ、おっ、おっおお……っ」

A「んっうううおお……っ。ほっおおっ、くううううおおお……っ。

クリっ、クリトリスも舐めてえ……っ。そこっ、好きだからあ……っ。クリちゃんいっばい舐められたら、おまんこイクから……っ。またあなたに、おまんこイカせてもらいたいのお……っ。

んうおっおおお……っ。クリトリスっ、ちゅうちゅうう……っ。んうううっ、おおおおお……っ」

A2「もう出ちゃいそうなんでしょ？ 耳まで真っ赤になっちゃって、必死に我慢してるの丸わかり。

お漏らししちゃうんだ？ おまんこ中出し我慢できないな？ あーあ、やつぱり所詮は元人間ね。おチンポ全然育ってない……」

B2「これ、お仕置きなんだよ？ 理解してる？ キミのおチンポ甘やかし会じゃあないんだよ？ そんなに簡単にびゅっびゅされちゃったら、お仕置きにならないじゃん。

ほら、喜ぶなって。おチンポイキそうで顔緩めるな。ダメ、ダメ、ダメ……っ」

B「んおお……っ、んんんんおお……っ、おおんっ、んんんっ、おおお……っ、おおおおん……っ。お……っ、ほおおおおお……っ、おおお……っ、お……っ。

おおおおお……っ。おまんこイグっ、おまんこイグっ、んうおおおっ、ほっおおおお……っ。

いいよっ、出してっ、おまんこ出して……っ。子宮にいっばい、ザーメン、出して……っ。イグ、イグ時っ、子宮、ぎゅうって押しつけるから……っ。子宮でぶっちゅんって、亀頭とデープキスしてあげるからあ……っ。中に、いっばい、おっ、おっ、いっばい、出してえ……っ。っおおっおおお……っ」

A「っあっ、あっ、イグっ、イグっ、私もっ、っおおお……っ。おまんこイグっ、おまんこ舐められてイグ、イグ……っ。おおっおおお……っ」

A2「ダメ、ダメ……。出すな、出すな、雑魚チンポ……。射精したら許さない。お仕置き続行しちゃうから……」

B2「イクな、イクな。おチンポイクな……。絶対出しちゃダメ。おチンポイツちゃダメ。びゅっびゅダメ、ダメ……」

B「っおおっおおお……っ。イグイグイグイグイグうう……っ。

出してっ、出してっ、濃いの出してえ……っ。ほっおおお……っ。んうううっおおっ、おおおっおおお……っ。ほおおっ、ほおおっ、んうおおおっ、おおおおおお……っ。

んうううっおおっおおお……っ。イグぐううううううう……っ」

【効果音…射精】【効果音…セックス 停止】

※四人同時

B「(絶頂) んうおおおおおおお……っ。ほおおおっ、んっおおおおっ、おおおっ、おおおっ、おおおっ、おおお……っ」

A「(絶頂) んうっああっああ……っ。あっ、あっ、あっ、あっあああ……っ」

A2「どぴゅっ、どぴゅっ、どぴゅっ、どっぴゅう……っ。どっくん、どっくん、どっくん、どっくん……っ」

B2「はっぴゅううう……っ、ぶっぴゅうううう……っ。ぶっぴゅ、ぶっぴゅ、びゅるるう……、びゅふゅふゅう……」

B「ほっお、ほっお、ほっおお、んっううう……っ。あー……っ、子宮、まんっばいだぁ……っ。んっううう……っ。これ、ザーメン、粘っこすぎ……っ。ヤッバあぁ……っ。ふっ、ふっ、ふっ、はー……っ。はー……、はー……。んふふ……。いっぱい出してくれて、ありがと……。おチンポお掃除、してあげる……。ん……っ。

【効果音…ペニス引き抜く】

ほっお……っ。ふう、ふう……っ。

【移動…正面・下（フェラ用の距離）】

はっ、はっ、はー……っ。んうっあ……っ。

(フェラ 5秒)」

※フェラ音継続

A「【移動…正面・近距離】

私も……おまんこイカせてくれたお礼……。いっぱいべろちゅーしてあげるわ……。  
(ディープキス 5秒)」

※キス継続

※四人同時

B「(フェラ 10秒)」

A「(ディープキス 10秒)」

A2「(耳舐め 10秒)」

B2「(耳舐め 10秒)」

B「おチンポしつかり育ったねえ……。分身たちの言葉にも惑わされないで、ちゃあんと私の言うとおりにしてくれたしね。ふふ……」

※四人同時

B「(フェラ 10秒)」

A「(ディープキス 10秒)」

A2「(耳舐め 10秒)」

B2「(耳舐め 10秒)」

A「ええ、本当に。ねえ、ヴァンプ。これなら……いいんじゃないかしら。この子に……私たちのこと……」

B「んう……？ あは……それもいいかもね。がんばったもんね。んふふ……。じゃあ……。

【移動…正面・近距離】

まずは私も、いっしょにちゅーしちゃうね」

※四人同時

B「(ディープキス 10秒)」

A「(ディープキス 10秒)」

A2「(耳舐め 10秒)」

B2「(耳舐め 10秒)」

A「いい？ ここまでがんばってくれたお礼に……私たちから一つ、プレゼントを与えるわ。それは……」

B「私たちに……種付けできちゃう権利。眷属になった今のキミなら、私たちが許可さえ出せば、精子種付け、できちゃうの」

A「私たちのこと、孕ませられるかしら……？」

B「もしもキミの赤ちゃん、妊娠させることができたら……私たち……」

※二人同時

A「ボウヤのこと、一生、愛してあげる……」



B「キシのこと……一生、愛してあげる……」

※四人同時

B「(ディープキス 10秒)」

A「(ディープキス 10秒)」

A2「(耳舐め 10秒)」

B2「(耳舐め 10秒)」

※二人同時

B「ふふふふ……」

A「ふふふふ……」

## 第9章

【A：位置：正面・近距離】

【A2：位置：背面・近距離】

【B：位置：右耳・近距離】

【B2：位置：左耳・近距離】

A「さあ、いいわよ。来て……。サキュバス相手に、本気の種付けセックス……。妊娠しないようにする魔法、もう解いたから……。今のボウヤになら、私たちを孕ませられる……」。

でも、それはもちろん、ボウヤがちゃんと種付け出来たら……。だけど。出来るわよね？ 期待、してるわ。

【効果音：水音】

んっお……。ふっうう……。っ、おチンポ、あっつ……。っ。

【効果音：徐々に挿入】

んっううう……。っ。中につ、入って……。っ。おっおお……。っ。これ、さつきよりも、ほっお……。っ。もっと硬く、熱くなつて……。っ。んっううう……。っ。

種付けできるからって、興奮してるのかしら……？ ふふ……っ。っおおっおおおお  
……っ。

【効果音…挿入完了】

ほっおお……っ。ふっ、ほっ、ほっ、んうっお……っ」

A2【囁き】種付けおチンポ、ずっぷり入れちゃったわね……。ふふ、おチンポドキドキし  
てるの、こっちにまで伝わってきちゃう……」

B【囁き】孕ませセックス、がんばろうね……。元人間のキミが、サキュバス孕ませられた  
ら、すごいことだよ？」

B2【囁き】ドラキュリア様の無防備子宮目掛けて、子種汁、いっぱい注いじゃおうね。キ  
ミの赤ちゃん、絶対孕ませちゃおうね……」

※二人同時

B【耳舐め 10秒】

B2【耳舐め 10秒】

※耳舐め継続

A【ふっう、ふっう……っ。さあ、来て……っ。あなたの子供……っ、妊娠させて……っ。

【効果音…セックス・激しく 開始】

んっおっ、っおおおおお……っ。いきなりっ、おチンポっ、ずぼずぼっ、激しい……っ。  
っおおおおお……っ。

孕ませチンポでっ、子宮っ、どちゅられちゃってるう……っ。体重っ、かけて……っ。種  
付けプレス……っ。ほっおおっ、んっおおお……っ。おおおっ、んうっおおお……っ。

ほっお、ほっおっ、子宮っ、墜ちる……っ。これっ、あっという間につ、あなたのおチン  
ポにつ、堕とされるう……っ。おっおおお……っ」

※オホ声継続

A2「ふふ……。孕ませピストン、とっても上手……。絶対孕ませられるって信じてるわ。で  
も……お手伝いも、してあげる……。

ほら、乳首つまんで、こりこりこりこり……。少しでも生きのいい精子、種付けできるよ  
うにね……」

B【ぱんぱんがんばれ。ぱんぱんがんばれ……。キミなら出来るよお……。絶対赤ちゃん作

れるよ……。サキュバス孕ませ、がんばってえ……」

B2「ほうら、そんな情けない腰振りじゃあ、精子が子宮まで届かないよお……？ もつと勢い着けて、どっちゅんどっちゅん、おチンポ、奥までえ……っ」

「おつ、ほつお、んうつ おおおお……つ。あつ あああ……つ。これがつ、あなたの……つ。本気の孕ませつちい……つ。おつ おおおお……つ。」

すごいっ、すごいわっ、っおおおお……っ。感じる……っ。あなたのっ、気持ち……っ。

絶対孕ませるつ、んっおつ、絶対、妊娠させるうう……つて、っおおっおお……っ。

「おとおお……つ、おお……つ、ん……つ、んんおおおおお……つ、おとおおお……つ、おっんお……つ、ほおおおおお……つ、おお……つ、おっお……つ」

「あ……。乳首、こりつこりに硬くなって……。えっちな乳首になっちゃってる……。」

あつつい乳首、いっぱいつまんで……キンタマ応援してあげる……。孕ませ汁、いっぱい作っちゃってえ……」

「そうそう、そこそこ。おまんこの一番奥で、おチンポぐりぐりい……って。それすると、ドラキュリア様は喜ぶよ。子宮とろつとろにとろけて、孕み準備しちやってる。絶対デキる、絶対孕む……っ」

B2「ほうら、もつとぐりんぐりんするんだってあ……つ。そんなんじゃないやあ、ボテ腹ドラキユリア様が見れないぞ〜？」

もつとしつかりおチンポ立たせて、一番奥までぐちゅつて突っ込むの……っ。ほら、ほらあ……っ」

△「んんっ……んお、おん、んっ、お、おお、ううっ、うん、おん、おんっ、お、おっ、うん、んっ、んっく、んっふ……」。

おほおつ……おおんつ、おんつ、いや、やん、んおう、おう、おん、おんつ、んおつ、ん  
おうつ……。

おおつ おおおお……つ。んう おおつ、ほつ おおおお……つ。んつ おおつ おおお……つ。

おつ、つのおつ、子宮つ、亀頭くわえ込んじやつてる……つ。精子、絶対逃がさないつてえ……つ。卵子に特濃ザーメン浴びせるまでつ、話さないつてえ……つ。おつおとおお……つ。

んおつ、おん、んくつ、んうつ……、んお、おおん、おつ、おんつ、んう、んお、んおつ、おつ、おつ、おつ、おつ……。

おつ、おおつ、イッグ、イッグう……つ。おまんこアクメ来るつ、妊娠アクメつ、種付けされてつ、イッグ、イッグう……。つ。おとおお……つ」

A2「ほら、ここが一番のがんばり時よ。アクメして、一気に緩んだ子宮口に、ザーメンどっぴゅん出しちゃうの。孕ませて。孕ませて、孕ませて……」

B「あつつい孕ませチンポ汁、ぜーんぶ出そうね。キンタマの中身、そっくり子宮に注ぎ込

むぐらいに、いっぱい出すんだよね……。

入りきらなくて、子宮溢れて、おまんこからこぼってこぼれちゃうぐらい、いっぱい出して……っ」

B2「弱あい精子、薄い精液、少ないザーメン、なんて許さないからね？ そんな気の抜けたおチンポ汁じゃ、サキュバス卵子は受精しないよ？」

目一杯力入れて、中出しするの……っ。ほら、出せ出せ……っ。妊娠させろお……っ。種付け、しろお……っ」

A【効果音…セックス・さらに激しく】

おおおおおおお……っ。おおおおおおおっ、んっおっ、ほおおおっ、んうおおっおおおっおおお……っ。

イグイグイグっ、んいっぐ、イググ、んうおおっ、ほっおおおおお……っ。

来るっ、来るっ、孕ませ種付け来るう……っ。おおおおお……っ。

来てっ、出してっ、ザーメン出してえ……っ。おっおおお……っ。

赤ちゃん産ませてっ、あなたのっ、子供……っ。妊娠っ、させてえ……っ。うっおおお  
おお……っ。

んおおおっ、おおおっ、ほおおおっ、っおおおおお……っ。

イググううううううううう……っ。

【効果音…射精】【効果音…セックス 停止】

※四人同時

A「(絶頂)んうおおおっおおおっおおおっおおお……っ。おおおおおっ、んお  
おっおおおおお……っ」

A2「ひゅるる、ひゅるる、ひゅるる、ひゅるる……。じゅんじゅん……。……」

B「はっひゅ、はっひゅ、はっひゅはっひゅ、どっひゅう……。はっひゅっ……。……」

B2「ひゅー……。ひゅー……。ひゅー……。ひゅひゅひゅー……。ひゅっひゅっひゅっ……。……」

A「んっおお……っ、ほっおおお……。おっ、ほっ、んうっお、おっおおお……。っ。  
精子、種付け……。っ。っおおお……。っ。いっぱい、出てるう……。っ。

おー……。っ、んっおおお……。っ。おチンポっ、子宮に刺さって……。っ。おっおお……。っ。  
孕ませザーメン、たっぷり、流し込まれてるう……。っ。ふううううう……。っ。

あー……。っ、孕んでる、孕んでる……。っ。これ、孕んじゃってるう……。っ。おっおおお  
……。っ。

【囁き ハハキッ】

A2「っいっばい種付けできたわね。ふふふ……。これ、絶対妊娠してるわよ。わかっちゃう

の。絶対、絶対、赤ちゃんデキてる……」

B「種付けぴゅっぴゅとつても上手だったよ。赤ちゃん仕込むの大得意なんて、さすが男の子。ふふふ……。パパになれてよかったねえ……」

【囁き っくまで】

B2「種付けしちゃったねえ。あーあ、パパになっちゃったあ……。これから大変だよ？ キミなんかが、ちゃあんと父親出来るかなあ？ んふふふ……」

A「【効果音：ペニス引き抜く】

んっお、ふっう……。はっあ、はっあ、はあ……。

さあ……。次はヴァンプの番よ……。私といっしょに、孕ませてあげて……」

【A：移動：右耳・近距離】

【A2：移動：左耳・近距離】

【B：移動：正面・近距離】

【B2：移動：背面・近距離】

B「っあんっ。あは……。つ。ヤバ、ホントに来ちゃうんだ……。つ。孕ませチンポ……。つ。妊娠させられちゃう……。つ。元人間の精子で、ママになっちゃう……。つ。

【効果音：水音】

っおほ……。つ。あっ、あっ、ドキドキ、すっ……っ。

【効果音：徐々に挿入】

んうっおおお……。つ、おおおっ、入るっ、入るう……。つ。んうおおっおお……。つ。チンポっ、硬……。つ。すっ……いの、入ってえ……。つ。おっおおおっおお……。つ。

【効果音：挿入完了】

おおっおおお……。つ。ふっう、おおおお……。つ。ふっ、ふっ、ふっ、ふー……。っ」

B2「あは、すっ……お……。つ。今までとぜんぜん顔、違う……。つ。孕ませられちゃうメスの顔してる……。っ。

ふふ……。私もキミの乳首いじって、孕ませ応援してあげるからね」

A【囁き】ふふ……。本当におチンポしつかりできてるのかしら……？ 私みたいに、ヴァンプのこともちゃんと孕ませられる？ 心配だわ」

A2【囁き】大丈夫よねえ？ だって、あんなに上手に孕ませぴゅっぴゅできたんだもの。きつとヴァンプも孕ませられる……。信頼してるからねえ……」

※二人同時

A【耳舐め 10秒】

A2【耳舐め 10秒】

※耳舐め継続

B「ふっう、ふっう……っ、あ……っ、来るっ、おチンポ種付け、全力プレス……っ。来ちゃう、来ちゃう……っ。

【効果音…セックス・激しく 開始】

んうおおおおおお……っ。ほおおおっ、んうっおおおっ、おほっ、おほっ、おっほっ、おおおおおお……っ。

んっ、おん、んお、おつく、んつく、いや、いお、ん、んうっ、んお、んおう……。ピストン、重おい……。んっおっ、おおっおお……っ。

これがっ、キミのっ、種付けセックスうう……。んうううう……。っ。

ほおおおお……っ。ヤバっ、ヤバいつ、これっ、だつめえ……。私の意志、関係ない……。これっ、キミに絶対、孕ませられちゃう……。っ」

B2「あは……。腰振り、男らしすぎ……。ううん、男じゃなくて、オスって感じ……。っ。目の前のメス孕ませるだけのおチンポピストン……。っ」

A「なかなかやるみたいね。でも、まだまだよ？ ほら……。もつと鋭くどちゅどちゅできるでしょ？ ヴァンプの子宮随とすには、もつと激しく突かなきゃダメよ。もつと奥まで、えぐるように……。っ」

A2「ふふ、そうそう。種付けパコパコ上手、上手……。孕ませたがってる子宮、ねっとり、にゅっぷり突きまくって、孕め、孕めって身体に刻みつけるの。

そうすれば絶対妊娠する……。赤ちゃんデキるからねえ……。っ」

B「んっおおおお……。っ、ふっおおおっ、おおおお……。っ。子宮っ、熱い……。っ。おっ、おっ、子宮とおチンポっ、一つになってるみたいで……。っ。んおおお……。っ。

おっ、ほっ、引っ張られる……。っ。おチンポどちゅどちゅにっ、子宮っ、引っ張られてっ、おっおおおお……。っ。

これっ、もっ、孕もうとしちゃってる……。っ。妊娠以外っ、ありえないって……。っ。子宮っ、完全敗北しちゃってる……。っ。

おおおっおおお……っ。精子っ、精子欲しい……っ。孕ませてほしいのお……っ。  
おっおおお……っ」

B2「ほら、孕ませちゃっていいよ。奥にいっぱいどぴゅって出して、赤ちゃん作ろ？  
乳首いっぱいこねこねして、濃い精液出せるようにしてあげるからね。いっぱい出そ？  
子宮溺れるぐらい、ザーメン出そうねえ……」

A「ダメダメ。そんな腰振りじゃあ孕ませられない。いくらヴァンプが妊娠したがってても、  
あなたがそれじゃあ全部無駄よ。

もっとおチンポに力入れて。孕ませるって強く想って、おまんこ突くの」

A2「孕ませチンポで子宮、とろかして。その中で待ってる卵子に、ボウヤの精子届けさせちゃ  
っい。

孕め、孕め、俺の子供、産め……っ。あなたの欲望全開にして……最後の孕ませピスト  
ン、がんばって……」

B【効果音…セックス・さらに激しく】

ほおおおおおお……っ。んうおおおおおお……っ。

来るっ、来ちゃうっ、んうおおおっ、んおおお……っ。ザーメン来るっ、種付け  
来るっ、孕むっ、孕むっ。強制っ、妊娠……っ。

キミの赤ちゃん作っちゃう……っ。キミの赤ちゃんっ、産みたくなっちゃってるう……っ。  
おっおおお……っ。

なるっ、なるっ、ママになるからっ、出してっ、パパ精子っ、出してっ、出してえ……っ。  
おおお……っ。

イグイグイグイグっ、イグイグっ、イグイグイグイグうう……っ。おおお……、イツ  
グ、イツグ、イグイグ、イツグううう……っ。

んおおおっおおお……っ、ほおおお……っ。ほおおお……っ。イツグううう……っ。  
ッグううう……っ。

【効果音…射精】【効果音…セックス 停止】

※四人同時

B「(絶頂)んうおおお……っ。ほおおお……っ。ほおおお……っ。ほおおお……っ。  
っ、んうおっ、おおお……っ」

B2「ふっふっふっ、ふっふっふっ、ふっふっふっ……っ。ふゅるるる、ふゅるるる  
る……っ」

A「ふっふっふ、ふっふっふ、ふっふっふ……っ。ふゅっ、ふゅっ、ふゅっ、  
ふゅっ……っ」

A2「ふゅるる……、ふゅるるる……。ふゅー……、ふゅー……、ふゅふゅふゅふゅ  
ふゅー……っ」

B「ほっおおお……っ、んっおおお……っ。熱いのっ、いつぱあい……っ。おっおおお……っ。ねばっねばの、孕ませミルクう……っ。ほっおおお……っ。  
んっお……っ、入った……っ、今、精子、卵子に入った……っ。受精したあ……っ。んっうう……っ。

はっ、はっ、赤ちゃん、出来ちゃったあ……。ふううううう……っ」

B2「種付けぴゅっぴゅ、気持ち良かったねえ。二人のサキユバス同時に孕ませちゃうなんて、ホントにヤバすぎい……。すごいよお、キミい……」

A「ふふ……。一晩で一氣に二人の子供孕ませちゃうなんて……。いくら眷属とはいえ、大変なことしちゃったわね。後でどうなっちゃっても知らないわよ？ 【囁き ここまで】」

A2「大丈夫……。私たちが力を合わせれば、きっと子育ても上手くいくわ……。かわいい二人の赤ちゃん、立派に育てましょうね……。ふふふ……」

A【移動：正面・近距離】

ふふふ……。お腹、まだ熱い……。あなたに孕まされた子宮が、とっても喜んでる……」

B「うん……。あなたの赤ちゃん孕めて、うれしがっちゃってるよ。あは……すっごおい……」

A「でも……。いくら孕ませられたからって、あなたの役目が終わったわけじゃないのよ？ これからもまだまだ、眷属として、おまんこえっち……続けてもらうからね」

B「というよりも……キミのことが大好きになっちゃったから、今まで以上にいつぱい、いくつぱい、ハメハメしてもらわないと、もう満足できないから。がんばってよねえ」

※二人同時

A「これからもよろしくね。パ～パ……」

B「これからもよろしくね。パ～パ」

## 第10章

【A：位置：正面・中距離】

【A2：位置：背面・中距離】

【B：位置：右耳・近距離】

【B2：位置：左耳・近距離】

（フェードイン）

【効果音：セックス 開始】



※二人同時

A「んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう、おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ……。おっおお……。んっ、ふっ、ふっうう……。っ。

あっはあ……。っ。ほら、どう……。？ 私のボテ腹おまんこ騎乗位セックス……。っ。んっううん……。っ。

こんなにお腹、おつきくなっちゃっててもお、んっお……。っ、テクは変わってないでしよう？ ふっうううん……。っ」※才ホ声継続

B「(耳舐め 5秒)」

A2「ほうら……。おっぱいばふばふ、おっぱいばふばふ……。やわらか太もも膝枕の上に寝転んでえ、おっぱいで、あなたのお顔いっぱい挟んで、勃起のお手伝い……。

っあん。ばふばふおっぱいばつくんして、母乳ちゅーちゅー……。っ。ええ、どうぞお……。たっぷり味わってねえ……。」

B2「(耳舐め 5秒)」

※二人同時

B「【囁き】はあい、こっちのおっぱいも、ごくごく飲んでいいよお。赤ちゃんのための母乳だけどお、今はまだ、キミだけのものだからねえ。

んっあんっ。ふふふ……。ちゅばちゅば上手う……。」

B2「(耳舐め 5秒)」

※二人同時

B「(耳舐め 5秒)」

B2「【囁き】お次はこっちい……。こっちのおっぱいもたっぷり飲んでいいよお。

ああんっ。そうそう、ちゅー、ちゅー、じゅーう、じゅーううう……。っ。んっううん……。っ」

※二人同時

A「ふっう、ふっう、んっううっ、ほっおっお……。っ。

ふふふ……。っ。おチンポ、すっごく硬い……。っ。ボテ腹おまんこに響いちやうわ……。っ。んっううう……。っ。

妊娠中で、母乳も出ちゃう状態の私たち、また分身させて、っお……。っ。四人分のママミルク、味わいたいなんて……。っ。

こんなに興奮すること、あなたから提案してもらって、私たちびっくりしちゃったわ……。っ。んっお……。っ」

B「(耳舐め 5秒)」

※二人同時

A2「ふふふ……。私たちがこんなお腹になるまでの数ヶ月の間に、あなたもつと成長しちゃったものねえ……。

本当に……最高にかつこよくなっちゃって……。んっうう……。ミルク飲む勢いも、素敵い……。っ」

B2「(耳舐め 5秒)」

※二人同時

B「ほうらあ……。こっちのおっぱいもつと飲んで……。ボテ腹おまんこおチンポであじわいながらあ、母乳（く）く……。おチンポ、勃起い……」

B2「(耳舐め 5秒)」

※二人同時

B「(耳舐め 5秒)」

B2「赤ちゃんデキてもムラムラ収まらない、淫乱サキュバスおまんこ……。いっぱいいっぱい犯してちようだいねえ……。いっぱい精液、どっぴゅんしてねえ……」

A「【効果音…セックス・激しく】

んっおおっ、おおおおっ、んうおおっ、ほっおおおおお……。っ。

イッグ、イッグ、おおおっ、イグイグイッグううう……。っ。おっおおお……。っ。

ボテ腹突き上げえっぐ、えっぐいのお……。っ。おっおおおお……。っ。

赤ちゃん孕ませてくれた。パパチンポでえ……。っ。ボテ腹サキュバスまんこイグう……。っ。

おおおおおっ、んうおおお……。っ。ほっおおっ、おおおおっ、んうおおおおおっ、ほお

おおおおお……。っ。

イッグううう……。っ。んうおおっおおっおおお……。っ。

【効果音…射精】【効果音…セックス 停止】

※二人同時

A「(絶頂)んうおおおっおお……。っ。おほっ、おっほおっ、んうおおおっ、ほおおおおお  
おおおお……。っ」

A2「ひゅー……。っ、びゅー……。っ、びゅううう……。っ。びゅっく、びゅっく、びゅっびゅ  
っひゅー……」

※二人同時

B「あは……。ドラキュリア様、イクのといっしょに母乳まき散らしちゃってるぅ……。噴乳アクメ、気持ちよさそお……。

【囁き ここまで】」

B2「(耳舐め 5秒)」

※二人同時

B「(耳舐め 5秒)」

B2「赤ちゃんのいるお部屋に、ザーメンどぴゅどぴゅたっぷりお射精……。いっぱい感じちゃってるんだあ……。んふふふ……。

【囁き ここまで】」

A「ふっふ、ふっふ、んうううっ、ふうっううう……。っ。

【効果音…ペニス引き抜く】

おっほお……。っ。ほっ、ほっ、ほっ、ほっお……。っ」

A2「いっぱい出してくれてありがとう。私も、お腹の中の赤ちゃんも、すっごく喜んじやつてるわ。ふふふふ……」

B「移動…正面・中距離」

はいはあい、お次は私の番ね。いっしょに孕ませてくれた、もう一つのボテ腹おまんこにも、ザーメンプレゼント、いっぱいちょうだいねえ。

【効果音…挿入】

んうっおおっおおお……。っ。ほっお、ほおおおっ、んううううう……。っ。

【効果音…セックス 開始】

うっく、うぐ、うお、うおん、おん、ほおっ、おほっ、おほおっ……。おっ、おおっ、おっ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおっ」

※オホ声継続

B2「移動…背面・中距離」

今度は私の太もも膝枕だよお。おっぱいも、ほうら……。まだまだいっぱい、ちゅばちゅば飲んでくれていいからねえ。

んっふ……っ。ふふ……。

サキユバス母乳でおチンポ元気になっちゃおうねえ」

A「移動…右耳・近距離」

【囁き】ほうら……こつちにも、あなたのだあい好きなおっぱい、あるんだからね？ 好き  
なだけごくごくしちやってねえ……。

んっうん……っ。ええ、そうそう……ごくく、ごくく、ごくくん……」

A2「移動…左耳・近距離」

【囁き】こつちもおっぱいあるからね。四人分の赤ちゃんミルク、空っぱになるまでぜん  
ぶ、あなたが飲んでもいいのよお……。

んっふあ……っ。んふ……。

赤ちゃんが産まれてくるまで、独り占め、しちやおうねえ……」

※二人同時

B「おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお、んおっ、おっ、おっ、  
おっ……。

んうっお、ほっお、ほっ、ほっ、んうおお……っ。おチンポどちゅどちゅされるたんび  
につ、お腹の赤ちゃん、喜んじやってるう……っ。おっおおお……っ。

産まれる前からこんなにつ、っおおっ、元気いっぱいでえ……っ。ママも、すっごいうれ  
しいのお……っ。おっおおっおお……っ」

A「(耳舐め 5秒)」

※二人同時

B2「んっ、んっ、おっぱいごくく、すっごおい……っ。乳首からびゅーびゅー、ミルク出  
ちやってるう……っ。

ほっお……っ。全部吸われちゃう……っ。ママのおっぱい、空っぱになっちゃうよお……  
っ。んうおっおお……っ。

んっ、ふっ、ふううんっ、んうううう……っ」

A2「(耳舐め 5秒)」

※二人同時

A「ほうら……。ヴァンプのボテ腹おまんこも、あなたのザーメン欲しがっちゃってる……。

私たちのおっぱいで、キンタマたくさん喜ばせて、精子いっぱい作って、たっぷりびゅ  
っびゅしてちょうだい……」

A2「(耳舐め 5秒)」

※二人同時

A「(耳舐め 5秒)」

A2「元氣になったおチンポザーメン、ボテ腹おまんこにびゆるびゆる、びゅっびゅー……。

お腹の中の赤ちゃんも、私たちと同じサキュバスだから……ザーメン浴びれてうれしいの。だからいっぱい、プレゼント、してあげてねえ……」

B「【効果音…セックス・激しく】

おおおっおおおお……っ。んおおっ、ほおっおおおおおお……っ。

うんっ、うんっ、いいよおっ、ちょうどあい……っ。赤ちゃんにいつ、パパザーメンっ、ビュルビュル出して……っ。産まれる前の赤ちゃんにっ、プレゼントお……っ。お願い……っ。んうっおおおお……っ。

ん、っく、ん、んふう、んお、おう……。んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ……。

おっおおお……っ。イグイグっ、イグイグっ、妊婦おまんこイグう……っ。パパチンポでイガされますう……っ。おおおお……っ。

イッグ、イッグ、イッグ、イッグううう……っ。おおおっ、ほおおおっ、んうおおおおお……っ。

【効果音…射精】【効果音…セックス 停止】

※二人同時

B「(絶頂)ふんっおおっおおお……っ。おほっ、ほおおおっ、んうおおおおっ、おおおっおおお……っ」

B2「ぶっびゅう……、どっびゅう、どっびゅうう……。びゅくっ、びゅくっ、どびゅどびゅ、どっびゅう……」

※二人同時

A「あはぁ……。ヴァンプも母乳撒き散らかしてイッちやってる……。おチンポびゅっびゅに合わせて、母乳も、どびゅ、どっびゅう……。

【囁き っ)まで】

A2「(耳舐め 5秒)」

※二人同時

A「(耳舐め 5秒)」

A2「お顔仰け反らせて、ドスケベアクメ顔……。パパチンポで思いつきりイカせてもらって、幸せそうに、おっぱいびゅっびゅう……。最高のボテ腹セックスねえ……。

【囁き っ)まで】

B「ふー……っ、ふー……っ、ふー……っ。んふふふ……っ」

【A・B：移動：正面・近距離】

【A2：移動：右耳・近距離】

【B2：移動：左耳・近距離】

A「ほぅら……おチンポいっぱい出して、疲れちゃったでしょう？ おっぱい飲んで、元気出しましょうねえ」

B「こっちにもあるよお。まだまだおっぱいたっぷり出るから、こっちのも飲んでえ」

A2「こっちにだってえ。分身とは言え、身体はほとんど本物と同じなんだから」

B2「あは。それじゃあ四人分のおっぱい、ホントに同時に飲んじやおつかあ。さあさあ、みんなでお口に乳首、近付けてえ……。はあい、おっぱいどうぞお」

※四人同時

A「んお、んう、おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふおっ……。んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひお、っおお、んおう、んっく、くお……っ」

B「ほおっ、んんお、っくお……。っ、んうっ。おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おお……。ひい、おほお、ううおっ……。おおっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう……」

A2「んお、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ。ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん……っ」

B2「んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ、やんっ、おお、うおんっ。おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふおっ……」

※オホ声継続

A「おっ、おおっ、おっばいたっぷり飲まれてっ、おっぱいイク……。っ。搾乳アクメえ……。っ」

B「んっおおお……。っ。イツちゃう、イツちゃうっ、ほおお……。っ。おおっおおお……。っ」

A2「おおおっ、んっおおっ、イグイグイグイグっ、イグイグ、イッグうううう……。っ」

B2「んおっおおお……。っ。おっばいイッグう……。っ。おっぱいイツで、もっとミルク、出るう……。っ」

※四人同時

A「(絶頂)おっほおっ、んうおおおっおおおっおおおお……。っ」

B「(絶頂)ほおおおおっ、んうおっ、おおおおお……。っ」

A2「(絶頂) おおっ、おっほっ、ほおおっ、っおおおお……っ」

B2「(絶頂) んおおおおっ、おおおおお……っ。ふっおおお……っ」

A「んうっおお、ほっおおお……っ。あっはあ……。母乳たくさん、お漏らししちゃったわね……っ」

B「ふふ、お顔にたっぷり真っ白ミルクかかっちゃって……でも、おかげでいっぱいぐぐぐ出来て、元気いっぱいだねえ。ふふふふ……」

A「ホント、立派になったわ……。もうあなたは眷属じゃなくって……私たちの、旦那様……」

B「うん。この子たちのパパってだけじゃなくって、私たちの、だあい好きな旦那様だね……」

A「愛してるわ、あなた……。これからも私たちと、子作りえっち、続けましょうね」

B「旦那様。愛してる。これからもたっくさんおまんこして、子作りし続けようねえ」

※二人同時

A「ふふふふふ……」

B「んふふふふ……」